

令和 6 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人祥風会

理事長 羽鳥 圭一

<目次>

白色

サポートセンター

P 1 ～ 5

青色

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

P 6

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園

P 7 ～ 1 5

特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ

P 1 6 ～ 1 8

飛羽ノ園デイサービスセンター

P 1 9 ～ 2 2

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

P 2 3 ～ 2 4

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園

P 2 5 ～ 2 6

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里

P 2 7 ～ 3 7

デイサービス憩いの里

P 3 8 ～ 4 1

支援センター憩いの里

P 4 2 ～ 4 3

土浦市在宅介護支援センター憩いの里

P 4 4

黄色

桜川保育園

P 4 5 ～ 5 1

令和6年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一
センター長 村山 直希

〒300-0823 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階
T E L 029-896-3520
F A X 029-896-3522
U R L <https://showfukai.com>
E-Ma i l info@showfukai.com

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

本年度は、法人経営理念に基づいた実践を施設全体で推進しました。

①「心地よい風の吹く場」の提供

介護施設では、入居者や利用者が心穏やかに過ごせる空間づくりを重視し、感染症対策の徹底や自然災害を想定した BCP 訓練の実施を通じて、安心・安全な日常を提供しました。保育園においても、園児が初めて社会と関わる場として、遊びや生活を通じて他者との関わりを大切にする保育を行い、安心感と楽しさを感じられる環境整備を行いました。

②「質の高いサービスの提供」

全職員に対し、定期的な研修や OJT、マニュアルの整備を通じて技術と知識の向上を図り、サービスの質の維持・向上に努めました。安全管理体制の強化や事故予防のための内部研修なども実施し、安心して働ける環境整備にも注力しました。

③「地域社会への貢献」

地域の高齢者や子育て世代にとって、相談しやすく、頼れる存在としての施設運営を意識し、地域行事への参加や施設見学、保育・介護に関する相談会の開催を実施しました。地域の皆様と共に支え合う仕組みづくりに取り組みました。

④「職員への適正な待遇」

職員の貢献を正當に評価する仕組みを継続し、処遇改善加算の適正な活用、勤務評価制度の運用などを通じて、働き続けたいと思える職場づくりを進めました。また、家族にも安心してもらえるよう、福利厚生制度の整備や情報共有の機会も拡充しました。

【茨城県および土浦市の一般検査の実施及び結果】

<特別養護老人ホーム飛羽ノ園>令和6年8月8日(実地検査)

- ① 価格による随意契約を行う場合は、金額により2者又は3者以上の業者から見積書を徴取のうえ、価格等の妥当性について検討のうえ決裁を受けて契約を締結すること。
- ② 預かり金の出納管理に関して、重要事項説明書に明示されていない「水分代」を利用者から徴収(希望者のみ)しているが、利用者若しくは家族(以下「利用者等」という。)の同意及び請求額の積算基礎等が明確になっていないため、利用者等の同意や徴収の根拠について明確にすること。
- ③ 誤薬事故が散見される中で、誤薬防止対策マニュアル若しくは事故防止対応マニュアルに誤薬発生時の対応が明記されていないため、マニュアルの改訂を行うとともに、安全管理体制(誤薬事故関係)や内部研修の見直しを行い、誤薬事故防止対策の徹底を図ること。
- ④ やむを得ず身体拘束を行う場合は、身体拘束の内容・目的・理由・拘束時間等のほか、拘束開始及び解除の予定について確認・説明し、同意を得たうえで実施することとされているが、拘束解除予定日を示さないまま実施していることが確認されたので、速やかに委員会において適正化策を検討のうえ、拘束解除予定日を記載した説明書において同意を得ること。
- ⑤ 勉強会には全職員が参加したことが分かるようにすること。(当日休みの職員は後日勉強会の資料を配布し、所感を提出すること。)

<特別養護老人ホーム憩いの里>令和6年7月12日(実地検査)

- ① 看護体制加算(Ⅱ)口を算定する場合は、看護職員を常勤換算方法で指定介護老人福祉施設に置くべき看護職員の数3に1を加えた数4以上配置する必要があるにも関わらず、これを満たしていないことが確認されたので、精査のうえ返還すること。また、利用者負担金の過払い分についても利用者に返還すること。
- ② 通所介護計画の作成に当たっては、その内容について利用者又はその家族に対して説明し、利用者の同意を得ること。
- ③ 居宅サービス計画が作成されている場合は、その内容を確認し、相違がある場合は修正を求めること。
- ④ 生活相談員、介護職員については、通所介護を提供している時間帯に勤務している必要があるため、有給休暇等で勤務していない場合は時間数に含めないこと。

<桜川保育園>令和6年8月8日(実地検査)

- ① 物品の購入については、経理規程に基づき、2者又は3者の業者から見積書を徴取すること。1者の見積書による随意契約とする場合は、理由を明確にすること。

2. 重点目標に対する成果

【法人理念の浸透と実行】

本年度は、法人理念の理解促進を目的とし、職員研修・会議・朝礼等のあらゆる機会において理念の共有と実践への呼びかけを行いました。特に新入職員や中堅職員へのフォローを強化し、理念に基づいた日常の行動・指導の質向上が見られました。

【感染症・災害への対応強化】

感染症対策においては、各施設での定期的な訓練・マニュアル見直しを実施しました。また、業務継続計画(BCP)の整備を各拠点で推進し、有事の際にも安定したサービス提供ができる体制の基盤構築を図りました。

【入居待機者の確保に向けた取り組み】

広報範囲の見直しを実施し、茨城県南エリアに加え、常磐線・TX 沿線へのアプローチを強化。パンフレット刷新・SNS 活用・WEB 申込体制の検討を進め、遠方からの入所希望者への対応力向上に寄与しました。

【中間管理職層の基準の明確化と育成強化】

主任・副主任を中心とした中間管理職に対し、業務役割の明文化と研修機会の提供を行いました。また、模範的な非常勤職員(パートリーダー)の配置による現場支援体制の強化を行い、組織全体のスキルと意識の底上げにつなげました。

【経営感覚の浸透と業務効率化の推進】

全体研修・部門別会議において、収益性とコスト意識を併せ持つ経営感覚の醸成を図りました。さらに、施設間での事務業務統一化を進め、業務の標準化と効率化に一定の進展がありました。

【採用活動の見直し、強化】

人材紹介会社依存からの脱却を目指し、自主採用の強化に取り組みました。働きやすい環境づくりや、処遇改善、職員の声の反映を行い、法人としての魅力向上に努めました。SNS 発信による情報提供も継続して実施しました。

【新規入職職員への指導体制の整備とフォロー体制の構築】

介護職員向け指導マニュアルの再整備を行い、施設ごとの運用項目を追加した改訂版を策定しました。新入職員への丁寧なフォローアップに努め、離職防止と早期定着に一定の効果が見られました。

【働き方改革関連法や福利厚生の整備】

法改正への迅速な対応を行い、職員が柔軟な働き方を選択できるよう勤務体制を見直しました。休暇制度の拡充やメンタルヘルス支援の導入、職員交流を目的とした福利厚生イベント等も実施し、ワークライフインテグレーションの推進を図りました。

3. 事業内容

* 祥風会設立認可・・・平成元年6月26日

* 創立登記・・・平成元年6月27日

* 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成21年8月10日

* 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階(平成24年12月に移転)

* 介護職員初任者研修事業開始年月日(平成26年4月1日)平成26年2月14日指定(指定番号45)

* 実務者研修事業開始年月日(平成30年6月1日)

事業所名		所在地	事業開始年月日	指定日・認可日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県土浦市 小松3-18-18	平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成24年4月1日	平成24年4月1日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成6年8月17日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成11年11月30日	平成11年11月30日	0870300175
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県土浦市 高岡2315	平成17年9月25日 平成26年4月1日(増床20床)	平成17年9月25日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900740
	土浦市在宅介護支援センター		平成19年4月1日		
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900757
桜川保育園	桜川保育園	茨城県土浦市 田中3-4-5	令和2年4月1日	令和2年3月31日	0820306100018

4. 理事会・評議員会開催状況

【理事会】

第1回理事会(決算理事会)	令和6年5月30日(木)	出席者:理事4名 監事2名
第1号議案	令和5年度事業報告及び令和5年度決算報告の承認の件	
第2号議案	定款変更の件	
第3号議案	評議員会への提案の件	
第4号議案	就業規則等の変更の件	
第2回理事会	令和6年10月31日(金)	出席者:理事6名 監事2名
第1号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園新築に伴う建設業者の選定について ※10月31日14時から開札を行った結果、予定価格を上回る金額であったため、審議なし。	
第2号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園建設に伴う資金計画について※第1号議案が審議なしのため、それに伴い審議なし。	
第3号議案	筑波銀行借入れについて※第1号議案および第2号議案が審議なしのため、それに伴い審議なし。	
第4号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園の施設長の選任について	
第5号議案	就業規則等の変更について	
第6号議案	職員紹介制度規程(リファラル採用規程)の整備について	

第3回理事会	令和7年2月20日(木) 出席者:理事6名 監事2名
第1号議案	千鳥ヶ丘保育園建築業者入札公告について
第2号議案	旧園舎(現:霞ヶ岡保育所)での運営について
第3号議案	飛羽ノ園空調設備改修工事について
第4回理事会	令和7年3月21日(金) 出席者:理事6名 監事2名
第1号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園(千鳥ヶ丘保育園)新築に伴う建設業者の選定について
第2号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園(千鳥ヶ丘保育園)建設に伴う資金計画について
第3号議案	筑波銀行借り入れについて
第4号議案	特別養護老人ホーム飛羽ノ園空調設備改修工事に伴う業者の選定について
第5号議案	令和7年度 資金収支予算(案)について
第6号議案	令和7年度 事業計画(案)について
第7号議案	就業規則等の変更について
第8号議案	評議員会への提案について

【評議員会】

第1回評議員会(定時評議員会)	令和6年6月14日(金) 出席者:評議員6名
第1号議案	令和5年度事業報告及び決算報告の承認の件
第2号議案	定款変更の件
第2回評議員会	令和7年3月31日(月) 出席者:評議員7名
第1号議案	令和7年度 資金収支予算(案)について
第2号議案	令和7年度 事業計画(案)について

5. 監事監査の実施状況

令和6年5月15日(水)	サポートセンターにて	10:00～
・理事の業務執行状況……適正である。・法人の財産管理状況……適正である。		
・法人・施設の業務執行状況……適正である。・法人・施設の会計状況……適正である。		

6. 職員状況

【在籍者数(名)】令和7年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員/契約職員	パート職員	合計
飛羽ノ園	46	2	16	64
憩いの里	46	2	15	63
桜川保育園	19	3	13	35
サポートセンター	6	0	1	7
合計	117	7	45	169

【入職者数一覧(名)】

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	2	0	0	0	1	1	0	3	1	0	0	1	9
憩いの里	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0	2	2	11
桜川保育園	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	1	5
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	3	1	1	1	2	1	0	6	3	2	2	4	26

【退職者数一覧(名)】

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	8
憩いの里	0	0	0	3	1	2	0	0	2	4	2	5	19
桜川保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	0	3	3	2	0	0	3	4	4	8	29

【離職率一覧】※離職率(%) = 当期間内の退職者数 ÷ 当期首の在籍者数 × 100

施設名	令和5年度	令和6年度	前年度比
飛羽ノ園	14.0%	12.7%	△1.3%
憩いの里	17.0%	30.0%	+13.0%
桜川保育園	15.0%	6.0%	△9.0%
サポートセンター	20.0%	0.0%	△20.0%

【面接回数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	4	1	2	5	5	19	26	7	4	9	15	8	105

【ハローワークでの企業説明会・面接会】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【採用詳細】

No	勤務地	職種	雇用形態	所持資格	経験	媒体
1	飛羽ノ園	介護職	正職員	なし	なし	高等学校(新卒)
2	憩いの里	介助員	パート	なし	なし	ハローワーク
3	飛羽ノ園	介護職	正職員	ヘルパー2 級	5 年 5 ヶ月	
4	憩いの里	介護職	正職員	介護福祉士	17 年 0 ヶ月	直接
5	憩いの里	施設ケアマネジャー	契約職員	介護支援専門員	10 年 8 ヶ月	直接(元職員)
6	憩いの里	介護職	パート	ヘルパー2 級	2 年 10 ヶ月	ハローワーク
7	桜川保育園	保育士	パート	保育士	44 年 0 ヶ月	直接
8	桜川保育園	保育士	パート	保育士	9 年 0 ヶ月	職員紹介
9	飛羽ノ園	機能訓練指導員	正職員	柔道整復師	12 年 0 ヶ月	ハローワーク
10	飛羽ノ園	看護職	パート	正看護師	6 年 6 ヶ月	職員紹介
11	飛羽ノ園	介護職	パート	介護福祉士	11 年 11 ヶ月	ジョブメドレー
12	桜川保育園	保育士	正職員	保育士	22 年 1 ヶ月	職員紹介
13	飛羽ノ園	介助員	パート	なし	なし	ジョブギア
14	サボセン	事務員	正職員	なし	なし	直接
15	桜川保育園	調理員	正職員	なし	なし	職員紹介
16	桜川保育園	保育士	正職員	保育士	21 年 5 ヶ月	ジョブメドレー
17	憩いの里	介護職	正職員	介護福祉士	9 年 1 ヶ月	ジョブメドレー
18	憩いの里	看護職	正職員	正看護師	8 年 7 ヶ月	(株)サイキ
19	憩いの里	看護職	パート	正看護師	43 年 7 ヶ月	直接(元職員)
20	飛羽ノ園	看護職	正職員	正看護師	20 年 1 ヶ月	直接
21	飛羽ノ園	介助員	パート	なし	なし	ジョブギア
22	憩いの里	看護職	正職員	准看護師	5 年 11 ヶ月	e ナースセンター
23	憩いの里	介護職	パート	介護福祉士	15 年 10 ヶ月	エアワーク
24	飛羽ノ園	事務職	正職員	ヘルパー2 級・主事	17 年 11 ヶ月	直接(元職員)
25	憩いの里	介護職	正職員	初任者研修修了	なし	介護ワーカー
26	憩いの里	介助員	パート	介護福祉士	22 年 4 ヶ月	元職員

【産休・育休取得】※女性取得者の復帰率 100%(復職後の退職者なし)

年度	男性		女性	
	人数	取得率	人数	取得率
令和 2 年度	0 人／0 人	0%	1 人／1 人	100%
令和 3 年度	0 人／1 人	0%	0 人／0 人	0%
令和 4 年度	3 人／4 人	75%	3 人／3 人	100%
令和 5 年度	2 人／3 人	67%	2 人／2 人	100%
令和 6 年度	0 人／1 人	0%	1 人／1 人	100%

【有給休暇】※消化率の分母は当年付与された有給休暇の日数、分子は前年度の繰り越しを含む使用日数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
平均取得日数	9.6 日	10.1 日	12.0 日	12.4 日	13.2 日
平均消化率	66.1%	70.8%	78.9%	85.1%	84.6%

【資格有資格者数】※保育士には、保育教諭・保母を含む ※一人で重複して所持している資格含む

介護福祉士	75	歯科衛生士	0	美容師	1	幼稚園教諭 2 種	17
社会福祉士	9	正看護師	11	管理栄養士	2	保育士	25
理学療法士	0	准看護師	7	栄養士	2	小学校教諭 1 種	1
作業療法士	2	保健師	1	調理師	4	合 計 162	
柔道整復師	1	公認心理師	1	幼稚園教諭 1 種	3		

7. 研修・講習・交流会状況

①内部研修実施状況

日時	研修名・対象者	担当	参加者(名)
令和6年4月1日(月)～3日(水) 終日	新卒者研修	沼尻・松本	3
令和6年4月19日(金) 10:00～12:00	新入職員研修	沼尻	12
令和6年6月12日(水) 10:00～11:30	居宅ケアマネ研修① 虐待CP・感染症	沼尻	7
令和6年8月21日(水) 13:30～15:00	法人リーダー研修①	村山	13
令和6年9月11日(水) 10:00～11:30	居宅ケアマネ研修② 認知症・法令・プライバシー	沼尻	7
令和6年10月3日(木) 13:00～16:00	憩いの里 人事考課説明会・インスタ勉強会	沼尻	10
令和6年11月6日(水) 15:00～16:00	憩いの里 年調電子化説明会	沼尻・松本	5
令和6年12月11日(水) 9:30～11:00	居宅ケアマネ研修③ 虐待・BCP・感染症	沼尻	7
令和6年3月12日(水) 10:00～11:00	居宅ケアマネ研修④ BCP	沼尻	6
合計			70名

②外部研修参加状況

日時	研修名	研修場所	参加者(名)
令和6年5月15日(水) 18:00～19:30	虐待	よしの壮(外部講師:沼尻)	43
令和6年5月24日(金) 9:00～10:30	令和6年度求人受理説明会	ハローワーク土浦	1
令和6年7月23日(火) 14:00～15:30	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	ハローワーク土浦	1
令和6年8月7日(水) 9:30～11:40	求人者セミナー	ハローワーク土浦	2
令和6年9月11日(水) 15:00～16:00	社員の定着率と育成について	オンライン	2
令和6年10月18日(金) 10:00～11:30	おさえておきたい今後の法改正ほか	オンライン	1
令和6年11月13日(水) 14:00～16:00	WAM新システム説明会	セキショウ・ウェルビーイング 福祉会館	1
令和6年11月27日(水) 13:15～15:40	介護施設における労働災害防止のための説明会 及び介護機器展	セキショウ・ウェルビーイング 福祉会館	2
令和6年12月16日(月) 10:30～15:30	保育施設所長等研修①	オンライン	2
令和6年12月19日(木) 9:30～17:30	保育施設所長等研修②	オンライン	2
令和6年12月23日(月) 9:00～17:30	保育施設所長等研修③	オンライン	2
令和6年2月5日(水) 13:30～16:00	令和6年度公正採用等人権啓発研修会	ザ・ヒロサワ・シティ会館	2
合計			61

令和6年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一
室 長 沼尻 知士

〒300-0823 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階
T E L 029-896-3521
F A X 029-896-3522
U R L <https://showfukai.com>
E-Mail ks@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

令和 6 年度は、介護職員初任者研修 9 名(受講者 9 名)、介護福祉士実務者研修 15 名(受講者12 名)の方が無事に研修を修了された。介護職員初任者研修では、開校月が4月、7月コースのみの開講となり、11月については受講希望者が集まらず休講となった。

介護福祉士実務者研修では、令和 6 年度に修了した受講生の 8 名が介護福祉士試験に合格することができた。残念ながら不合格となった修了生や受験資格がなく次回受験される方も数名おり、引き続き試験に向けたフォローアップをしていきたい。

また、昨年度より LINE を活用し、受講生との連絡や相談、修了生へのスキルアップや仕事の相談などに対応できるようにした。気軽に相談できる研修室としてイメージアップにつなげ、口コミによる受講生の獲得や就職の選択肢の一つとなるよう期待をして開設し、令和 6 年度介護福祉士試験の合格の知らせと共に当法人の介護施設への転職希望を頂くことができた。

2. 内容

(1)介護職員初任者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第 1 回	4 月 4 日 ~ 7 月 18 日	5	5
第 2 回	7 月 5 日 ~ 10 月 18 日	4	4
第 3 回	11 月 7 日 ~ 2 月 27 日	休講	
合 計		9	9

② 施設実習・見学会

令和 6 年度は、施設実習及び見学の希望がなかったため開催しなかった。令和 7 年度も各施設の感染対策状況を踏まえて、希望があれば可能な限り開催する方向で検討している。

③ 年代別受講者数(名)

世代	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		開催毎の計
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
第 1 回	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5
第 2 回	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
第 3 回	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
男女別計	1	0	1	2	0	1	0	2	1	1	0	0	9
合計	1		3		1		2		2		0		

(2)実務者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第 1 回	6 月 4 日~12 月 3 日	15	12 ※受講者 3 名修了できず
合計		15	12

② 年代別受講者数(名)

世代	10代		20 代		30代		40代		50代		60代	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	0	1	2	1	1	5	1	0	1	2	0	1
合計	1		3		6		1		3		1	

令和6年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 中島 勇一

〒300-0823 土浦市小松3-18-18

T E L 029-826-2941

F A X 029-826-2946

U R L <https://showfukai.com>

E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設(とわ)

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

日々の業務に追われてしまい、入居者一人ひとりの今までの生活や個性を捉えたケアの実践は難しかった。しかし、そんな中でも、尊厳を傷つけてしまうことのないよう『虐待の芽チェックリスト』を継続して実施し、職員の接遇に関しても委員会で検討を繰り返し改善できるよう努めた。また、必要な各研修・勉強会への参加者を全職員に範囲を広げたことで、知識の底上げに結び付けることが出来たと考えている。来年度も入居者一人ひとりが安心して施設利用できるよう、すべての職員の知識の底上げをし、連携したケアを展開していきたい。

例年の地域行事の他に、地域の方向けの施設説明会の開催をするなど、地域とのつながりに対する取り組みも実施してきた。今後も、地域との連携に重きを置いた施設運営が必要と考えている。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

家族の体調不良や本人の持病の悪化・認知症の急激な進行等で突然駆け込みのように施設利用を希望してくるケースが目立った。基本的に入所がタイミングよく空いていることはないため、長期ショートステイ利用で出来る限り応えるように努めたが、現状を見て必要な支援は何なのかを冷静に判断し、時には介護サービスではなく医療を勧めることもあった。今後も医療職と連携し、本当のニーズに気づける目を養っていきたい。また、状況に応じて新規の緊急利用もスムーズに対応できるよう、確認項目等を整理してフローを作成しておくことも必要であると感じた。

3. 稼働率報告

種 別	従来		ユニット		ショートステイ	
年 度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年間ベッド数(最大)	18,300	18,250	7,320	7,300	3,660	3,650
利用延べ人数	18,216	18,165	7,232	7,182	2,982	2,703
稼働率(%)	99.5	99.5	98.8	98.4	81.5	74.1

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
従来	入所	3	0	3	0	2	1	2	2	0	2	1	0	16
	退所	2	0	3	1	1	2	1	2	1	1	1	0	15
とわ	入所	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	4
	退所	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4

(2) 入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	8	1	永眠	8	4
病院	1	1	病院	3	0
老健	1	1	老健	0	0
有料老人ホーム	1	0	居宅	0	0
グループホーム	0	1	グループホーム	0	0
障害者施設	1	0	障害者施設	0	0
計	12	4	計	11	4
前年度計	13	3	前年度計	14	2

(3) 要介護度別 ※令和 7 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	1	0	3	2	4	2	6	2
2	2	0	3	0	5	0	6	3
3	8	1	9	11	17	12	15	7
4	2	0	14	5	16	5	16	5
5	0	0	8	1	8	1	6	3
合 計	13	1	37	19	50	20	49	20
平均要介護度	2.8	3.0	3.6	3.2	3.4	3.2	3.2	3.2

(4)年齢構成 ※令和 7 年 3 月 31 日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	1	1	2	0	2	1	6	13
	女性	0	1	0	2	6	10	18	37
とわ	男性	0	0	1	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	3	1	15	19
合計		1	2	3	2	11	12	39	70
前年度		1	1	3	2	15	10	37	69

(5)入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数 (延人数)	6	6	15	18	7	52
5		6	6	15	15	8	50
6		5	6	16	18	8	53
7		4	6	15	18	7	50
8		4	6	16	17	7	50
9		4	6	16	17	7	50
10		4	6	16	18	7	51
11		4	5	17	18	8	52
12		4	5	17	17	7	50
1		4	5	17	17	8	51
2		4	5	17	17	8	51
3		4	5	17	16	8	50
R6		53(1,612)	67(2,028)	194(5,853)	206(6,054)	90(2,618)	610(18,165)
R5		71(2,149)	62(1,801)	223(6,648)	213(6,394)	41(1,224)	610(18,216)

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数 (延人数)	2	3	7	5	3	20
5		2	3	7	5	3	20
6		2	2	7	6	3	20
7		2	1	8	6	3	20
8		2	1	7	8	2	20
9		2	1	8	7	3	21
10		2	1	9	7	1	20
11		2	1	9	7	1	20
12		2	1	10	5	2	20
1		2	1	10	6	1	20
2		2	0	11	6	1	20
3		2	0	12	5	1	20
R6		24(730)	15(440)	105(3,131)	73(2,177)	24(704)	241(7,182)
R5		27(898)	36(1,098)	106(3,160)	44(1,315)	27(821)	240(7,292)

《考察》

入退所数では前年度と大差はなかったが、同じ月で複数名が退所となるケースが目立った。入居者実態調査の調整をスムーズに行えず、入所受け入れに時間を要してしまった。次の入所予定者だけでなく、あらかじめ申し込みリスト順に従い数名の実態調査を済ませ、円滑に入所へと導けるよう改善が必要と感じた。

障害者施設を利用していたが、高齢となったことで高齢者施設へ移動せざるを得ない方を受け入れたケースがあった。重度の知的障害者対応の経験が少ない中ではあったが、今後も同様なケースが増えてくる可能性があるため、柔軟に対応できるよう知識の習得等の準備が必要と感じた。

(6)短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数 (延人数)	0	1	2	2	4	4	1	14
5		0	1	2	2	3	3	1	12
6		0	1	3	2	3	3	1	13
7		0	1	4	2	5	2	1	15
8		0	1	3	1	4	2	1	12
9		0	1	3	1	6	3	1	15
10		0	1	2	1	5	4	1	14
11		0	0	3	2	4	2	1	12
12		0	0	4	2	6	2	1	15
1		0	0	2	0	7	2	1	12
2		0	0	3	1	5	3	0	12
3		0	0	2	2	6	3	0	13
R6		0(0)	7(24)	33(243)	18(142)	58(1,214)	33(805)	10(275)	159(2,703)
R5		0(0)	12(46)	23(184)	45(590)	40(627)	39(1,020)	20(515)	179(2,982)

《考察》

昨年同様、長期のショートステイのニーズは多く半数を上回っていたが、通常のショートステイの希望者も少しずつ増えてきている。地域のニーズを敏感に察し、長期枠と通常枠の調整を図っていく必要があると感じた。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(従来型)

[1] 重点目標:信頼関係を深め、ご入居様がより安心できるケアを提供する

今年度は接遇を意識していくことを目標の一つとした。定期的の実施している「虐待の芽チェックシート」の結果を見ても、職員の態度や言葉遣い等が良い方へ変化している様子が窺える。以前は入居者に対し、大きな声を出すことも見られたが、それも減少してきている。今後も積極的に丁寧なコミュニケーションを通して信頼関係を築き、入居者が安心して生活できるよう努めていきたい。

〔計画内容〕

(1) 接遇マナーについての知識習得と実践

研修等に参加できなかった。来年度は、接遇マナー等の研修に参加し、共有できるようにしたい。

(2) 職員の意識改革(コミュニケーション)

感染対応の緩和により、面会や見学等で入居フロアへの来客者も増えたが、その際のあいさつ等はしっかり行えていた。また、職員間のコミュニケーションも、少しずつ改善がみられてきている。今後は、お互いの委員会や担当居室の環境整備など、個人での役割の部分も気に掛け合い、連携・協力して出来るように努めていきたい。

(3) 委員会活動の活性化

感染委員会や褥瘡委員会、身体拘束適正化委員会、権利擁護・虐待防止委員会など、定期的に委員会会議を開催し活動することが出来た。一方で、寄り添う看取り委員会や胃ろう・吸引委員会、レク委員会などあまり活動が少ないものもあったため、計画的に開催できるような仕組みを作っていく必要があると感じた。

1. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	1	0	0	0	1
70~74	男	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	0	0	0	0	2
80~84	男	0	0	1	0	1	0	0	2
	女	0	3	0	1	1	0	1	6
85~89	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	4	1	1	0	2	1	1	10
90~94	男	1	1	1	1	0	1	0	5
	女	3	1	4	3	2	0	0	13
95~	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	2	2	0	0	0	1	0	5
計		12	9	7	7	8	4	3	50

(2) 日常生活状況(ADLの状況)※令和7年3月31日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	39	5	6	12	20	18	2	31	18	2	30	18
前年度	29	17	4	9	26	15	2	31	17	2	30	18
区分	移 乗			寝 返 り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	13	23	18	20	12	18	9	3	3	3	29	18
前年度	13	21	16	23	12	15	10	3	3	3	19	14

(3) 処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	89	72	60	71	108	78	62	62	36	70	63	85	856
処置	119	52	116	108	136	109	189	194	139	113	74	140	1,489
軟膏・湿布	317	252	286	339	267	374	288	445	609	547	486	558	4,768
テープ	174	197	180	186	186	180	186	190	186	188	168	189	2,210
救急対応	0	6	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	12
看取り	2	0	1	2	0	0	2	2	0	2	0	0	11

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	11	26	23	33	12	0	358
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳外科	呼吸器内科	放射線科	
延人数(名)	0	0	217	6	4	7	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器内科	精神科	神経内科	ペースメーカー	
延人数(名)	1	1	2	3	0	5	
受診科名	婦人科	心臓血管外科	循環器内科	代謝内科	脳神経内科	緩和ケア	
延人数(名)	0	2	2	2	1	0	

(5)入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	109	62	116	157	160	152	156	145	153	131	125	135	1,601
一般浴	324	169	271	274	284	267	271	254	245	251	261	264	3,135
合 計	473	231	387	431	444	419	427	399	398	382	386	399	4,736

②短期入所生活介護(予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	81	33	45	61	56	78	64	66	70	54	60	75	743

《考察》

5 月はコロナウイルスクラスター発生により、入浴者の数字が減少している。入浴が難しい場合には、入浴日の変更・ベッドバスでの対応を実施した。

2. 給食

(1)令和 5 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	1人1日 -	蛋白質	脂質	加減量	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,517	52.4	42.0	573	5.5	1.02	1.09	100	6.8
4 月	1,693	66.0	46.7	540	9.4	0.81	1.00	74	10.2
5 月	1,689	67.0	45.5	528	9.2	0.88	0.95	79	9.9
6 月	1,686	65.4	46.6	557	9.4	0.80	0.98	78	10
7 月	1,667	66.1	45.3	548	9.1	0.80	0.95	78	9.9
8 月	1,700	66.4	48.3	528	9.6	0.81	0.99	82	9.9
9 月	1,701	66.3	47.1	540	9.3	0.81	0.98	79	9.8
10 月	1,689	64.9	47.2	519	9.2	0.75	0.97	77	9.8
11 月	1,658	64.2	44.8	546	9.3	0.80	0.92	77	10.3
12 月	1,656	65.7	44.5	529	8.8	0.82	0.90	77	10.1
1 月	1,669	66.9	44.4	530	8.8	0.78	0.98	74	9.8
2 月	1,660	65.4	46.7	527	9.1	0.81	0.94	70	9.7
3 月	1,638	63.6	43.9	520	9.2	0.79	0.93	71	10.1

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合 計
特養	17,925	17,877	17,825	53,627
ユニットとわ	7,133	7,117	7,137	21,387
ショートステイ	2,530	2,673	2,544	7,747
デイサービス	0	4,568	0	4,568
職員	365	2,417	365	3,147
実習生	0	10	0	10
延人数(名)	27,953	34,662	27,871	90,486

②選択食

日 時	A	B
4 月 24 日	ハンバーグ	はんぺんフライ
5 月 14 日	鶏のトマト煮	魚の菜種焼き
6 月 20 日	魚のムニエルラビゴットソース	照り焼きチキン
7 月 20 日	豚肉の生姜炒め	魚のマヨネーズ焼き
8 月 26 日	アジフライ	鶏肉のオニオンソース
9 月 13 日	チキンピカタ	魚の金山寺味噌焼き
10 月 15 日	魚のムニエルオニオンソース	ポークチャップ

11月20日	カニクリームコロッケ	ハンバーグ
12月28日	はんぺんフライ	鯖のマヨネーズ焼き
1月21日	ポークチャップ	魚のゆず味噌焼き
2月27日	鶏肉のオニオンソースかけ	鮭とチーズのカツ
3月28日	鶏肉のピカタ	アジフライ

③行事食(従来型)行事食

1	日 時	4月12日	行事名	行事食
	筍と桜エビの炊き込みご飯、春野菜の天ぷら、酢味噌かけ、フルーツ、菜の花のお吸い物			
2	日 時	5月7日	行事名	行事食
	鶏とそら豆の炊き込みご飯、カツオのたたき、オクラの胡麻和え、フルーツ、さつき汁			
3	日 時	6月13日	行事名	行事食
	新生姜の炊き込みご飯、水晶鶏夏野菜と梅おろしだれ、いんげんの胡麻みそ和え、フルーツ、清汁			
4	日 時	7月7日	行事名	行事食
	夏野菜たっぷりそうめん、てんぷらの盛り合わせ、セタサラダ、フルーツ			
5	日 時	8月4日	行事名	行事食
	焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、おにぎり、そうめん、胡瓜漬け、かき氷、スイカ、ジュース			
6	日 時	8月16日	行事名	行事食
	夏のちらし寿司、野菜の揚げ浸し、キャベツのマヨサラダ、フルーツ、清汁			
7	日 時	9月15日	行事名	行事食
	うなぎちらし、てんぷら盛り合わせ、茶わん蒸し、清汁、ひよこ饅頭(おやつ)			
8	日 時	9月18日	行事名	行事食
	栗おこわ、秋鮭と旬菜の竜田揚げおろしソース、菊花和え、フルーツ、秋の実りけんちん汁			
9	日 時	10月17日	行事名	行事食
	秋のさつま芋ご飯、秋鮭の照り焼き、茄子とみょうがの和え物、フルーツ、きのこ入り豚汁			
10	日 時	11月15日	行事名	行事食
	きのこご飯、レンコンバーグ、秋野菜添え、ゆずの香り和え、フルーツ、のっぺい汁			
11	日 時	12月11日	行事名	行事食
	エビドリア、ナナチキ、コールスローサラダ、コーンスープ、ジュース			
12	日 時	12月24日	行事名	行事食
	エビピラフ、チキンのトマト煮、ほうれん草とベーコンのサラダ、フルーツ、オニオンスープ			
1	日 時	1月1日	行事名	行事食
	彩りちらし寿司、炊き合わせ、おせち、フルーツ、清汁			
2	日 時	2月3日	行事名	行事食
	ちらし寿司、さんが焼き、菜の花ゆず和え、フルーツ、鬼除け汁			
3	日 時	3月3日	行事名	行事食
	彩りちらし寿司、鶏の木の芽味噌焼き、しらす和え、フルーツ、お吸い物			

(3)栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス(開催回数 36回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	51	10	11	33	16	4	33	15	3	33	13	4	226

(4)会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修

《考察》

5月2日から3日にかけて、厨房内の排水工事で調理をすることが出来なかった。その間、BCP訓練を兼ねた非常食の提供、場所を変え焼きそばやフランクフルトなどの調理、お弁当やサンドイッチなどを購入し対応した。BCPの訓練も実施できたことで自然災害への関心も高めることが出来た。今後も、実施していきたいと考えている。

コロナの集団感染があり、後遺症で食欲低下した入居者が多く見られた。エンシュアなど濃厚流動食を提供し必要な栄養を補えるよう努めた。今後も、多職種協働し入居者の栄養状態の改善をしていきたい。

お米の値上がりなど物価高騰により、入居者の楽しみである食事が寂しくなってしまうことが危惧されている。委託業者と情報共有や話し合いをして、食の楽しみを支えていきたいと考えている。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数(開催合計 入居 42回 SS 25 回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	11	8	18	5	13	10	10	9	11	8	11	11	125
SS(名)	3	0	1	4	4	3	2	1	3	2	3	1	27

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	3	2	0	2	1	1	1	2	2	1	2	1	18

《考察》

定期的なカンファレンスを開催し、他職種からの意見を反映したケアプランの作成・見直しにつなげることが出来た。

ケアプランの短期・長期目標設定に関しては、本人の意欲を引き出したり、達成感を得られるようなものに出来なかった。来年度へ向けての課題と考えている。

家族とのコミュニケーションでは、面会等で来園頂いた際に日常の様子だけでなく、昔の生活の様子や好きだったことなどの生活歴も伺い、新たな気づきにつなげることが出来た。今後は、来園機会が少なく直接会って話すことが難しい家族との情報共有の方法を工夫し、力を入れていきたい。

4. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所検討委員会	申込みリスト順に次の入居者を決めていくことが出来た。また、経済的理由や家族状況など点数では表すことのできない課題を抱えている申し込み者に対しては、委員会で判断し優先入所するなど対処できた。一方で、委員会に介護職が参加できないことが多かった。次年度は多くの参加者で委員会を開催していきたい。
2	防災対策委員会	総合防災訓練では、消防署の立ち合い依頼し助言をいただくことが出来た。BCP(自然災害)では災害時の備蓄品の場所の周知、簡易トイレの作成、らくらく連絡網を使った緊急招集のメッセージ配信を行った。今後、災害が起きたことを想定し何が機能しなくなるのかを考えて会議で話し合えるようにしていく。
3	高齢者権利擁護(虐待防止を含む)・身体拘束適正化委員会	運営指導を受けたことで、施設として身体拘束に対する考え方を改めるきっかけとなり、身体拘束者ゼロとすることが出来た。また、年 3 回『虐待の芽チェックリスト』を配布し、虐待行為に関する意識レベルを高い位置で維持できるよう取り組んだ。次年度へ向け、チェックリストの内容を更新し、入居者対応のスキルアップを図っていききたいと考えている。
4	感染症予防対策委員会	令和6年5月にコロナウイルス感染者が多数出てしまったが、職員同士協力し収束することが出来た。今後も継続し、感染対応・予防していく。また、今後は、感染症が発生した場合に、初動をしっかりと行えるようにしたい。
5	物品管理委員会	各分野で発注などを行い、問題なく実施することが出来た。職員が変わっても誰でも発注・管理ができるようにしていきたい。また、発注時のコスト意識も重要と考える。
6	寄り添う看取り委員会	看取り期のフローを作成し、家族に施設の体制や対応の流れを以前より分かりやすく説明することができるようになった。今後は、看取り後にカンファレンス実施をする等して、ケアの振り返りをする機会を作り、質の向上を目指して活動していきたい。
7	褥瘡予防委員会	勉強会を 2 回実施し知識の再確認に役立てることが出来、担当職員のスキルアップにもつながった。今後は、クッション等の物品管理ができるよう努めていきたい。
8	胃ろう・吸引対策委員会	対象入居者がおらず、委員会活動は行わなかった。
9	広報委員会	飛羽ノ園だよりの作成では、人間の視線の流れを考慮した配置になるよう工夫した。また、各部署でのイベントの様子を PC 内で共有し、スムーズに SNS で情報発信できるよう努めた。特にInstagramの更新に力を入れ、家族から好評のコメントも頂くことが出来た。今後も、より見栄えのよい写真撮影ができるよう撮影技術の向上に努めていきたい。
10	レクリエーション委員会	毎月定期的に甘味処、誕生日会を開催した。一方で、日々のレクリエーションの実施が出来ず、来年度は行えるよう検討していきたい。また、外出の機会も増やしていきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
4	20	甘味処(あんロール)	57	4	0	61
	21	誕生日会	3	10	0	13
5	18	誕生日会	2	5	0	7
	25	甘味処(チーズスフレ)	50	4	0	54
6	22	誕生日会	6	5	0	11
	23	甘味処(アイスクリーム)	56	5	0	61

7	12	日帰り旅行(マクセルアクアパーク品川)	11	12	1	24
	12	甘味処(メロンプリンパフェ)	45	3	0	48
	28	誕生日会	3	5	0	8
8	4	納涼祭	58	12	0	70
	25	誕生日会	2	5	0	7
9	15	敬老祝賀会	57	12	0	69
	28	甘味処(シフォンプリン)	56	11	0	67
	29	誕生会	4	10	0	14
10	27	誕生日会	5	9	0	14
	28	甘味処(モンブランケーキ)	54	5	0	59
11	16	甘味処(焼き芋)	57	7	0	64
	23	誕生日会	3	10	0	13
12	21	誕生日会	6	10	0	16
	22	クリスマス会	58	10	0	68
1	3	正月式	57	8	0	65
	26	誕生日会	5	9	0	14
2	9	甘味処(あんこロールケーキ)	55	11	0	66
	23	誕生日会	3	8	0	11
3	9	甘味処(カステラ)	53	11	0	64
	23	誕生日会	4	11	0	15

《考察》

甘味処や誕生日会をほぼ毎月開催することが出来た。誕生日会でケーキを召し上がって頂くことが多いため、今後は甘味処と連続での開催は避けて日程を設定していきたい。また、職員人数等の影響で外に出るイベントがあまり出来なかったため、来年度は充実させていきたい。

5. ユニット費

月平均額	年間累計
6,628	79,545

《考察》

昨年度と同様に、入居者の生活用品の購入が多かった。購入する時間調整が難しく、勤務外に買い物に行くことが多かった。来年度は勤務時間内調整できるよう努める。

6. 研修

(1)内部研修・訓練報告

①施設全体研修(従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務)18:30~19:00

月	日	内容(対象者)	参加人数
6	10	BCP(自然災害)の説明	24
12	10	口腔衛生勉強会(歯科講話)	37
3	11	口腔衛生勉強会(歯科講話)	40

②部署内研修

4	17	新人研修(法人)	2
5	9~13	ガウンテクニック(着脱)練習	20
10~11	1~31	1、身体拘束適正化指針 2、身体拘束適正化動画研修 3、権利擁護及び虐待防止指針 4、権利擁護及び虐待防止動画研修	41
12~1	1~31	1、事故防止のための指針 2、口腔衛生資料 3、感染予防及び食中毒及びまん延防止のための指針 4、感染予防及び食中毒及びまん延防止動画研修	41
2~3	1~31	1、BCP(自然災害)資料 2、介護の事故防止動画研修 3、看取り介護に関する指針 4、口腔衛生資料	41

③内部訓練

5	1	BCP(自然災害)訓練	10
11	20	夜間想定避難訓練	92
1	15	BCP(自然災害)訓練	7
1	18	BCP(自然災害)訓練	4
3	5	感染症予防およびまん延防止のための訓練	7
3	12	感染症予防およびまん延防止のための訓練	7
2～3	1～31	手指衛生	12

(2)外部機関研修

研修名	開催時期	研修内容	人数
ビジネスマナーマニュアル	4/15・16	社会人としての心構え、立ち振る舞い等について	2
社会福祉施設等新任研修	4/18	職場内のコミュニケーション等	1
感染症に関するミニレクチャー	6/21	COVID-19 に関する情報	1
アンガーマネジメント研修	7/11	アンガーマネジメントの理解・有効活用	1
社会福祉施設における労働災害防止対策について	11/27	社会福祉施設における労働災害防止対策について	1
介護施設における労働災害防止説明会	11/28	労働災害防止に関して	1
高齢者施設における感染対策に関する研修会	11/30	高齢者施設における感染対策	1
感染対策座談会	12/20	感染流行状況について、高齢者施設における感染対策、血液・体液汚染	2
合計			10 名

(3)老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

県南・土浦ブロック定例会	3/18
ブロック代表者会議・研修会	8/27、9/30

《考察》

運営指導での指摘もあり、法定研修を特養全職員に実施するようになった。一堂に会しての実施は困難な為、テキスト配布及び研修動画視聴を、各自業務の空き時間で出来るよう仕組みを作り実施した。

外部研修への参加に関しては、少数だが自分から参加希望する者もいた。参加希望があった職員に関しては積極的に参加してもらい、その他職員に関しては、役職者からの推薦や委員会等で検討し、参加者の増加を図っていきたい。

7. 実習生受入れ

介護福祉士、初任者研修の実習生を、アール医療福祉専門学校、AOI 国際福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、茨城県社協から受け入れた。新人職員や中堅職員が他者の教育をする良き機会となったと感じた。また、介護過程を指導する中で、普段働く職員の気づきとなる機会になった。

引き続き来年度も、積極的に実習生を受け入れ、飛羽ノ園職員のスキルアップにも繋げていきたい。

8. ボランティアの受け入れ

※納涼祭にてよさこい飛翔様の受け入れを予定していたが、コロナウイルス感染症の発生で中止となってしまった。来年度もイベント時や定期でのボランティア受け入れを検討していきたい。

9. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

介護相談会	6/13(木)、6/14(金)	来場者:2 日間計 10 名
-------	-----------------	----------------

※今年度は地域からの要望を受け、介護相談会を開催することができた。来年度は活動内容を見直し、無理のない範囲で施設発信の企画も計画したい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(とわ)

【1】重点目標:1人1人の気持ちに寄り添い、安心・安全な介護を提供する

育休取得や事故、怪我等によるまとまった休みを必要とする職員が重なり、日常業務だけで精一杯な1年になってしまった。そのため、1人ひとりに寄り添ったケアの提供は難しく、目標達成とはいかなかった。また、言葉遣いや介護方法では、尊重した対応ができないこともあった。今後も継続しスキルアップの必要があると感じた。どちらも来年度の課題とし、取り組んでいきたい。

〔計画内容〕

(1)権利擁護の推進

権利擁護を頭に入れたケアの実践をしたが、職員が一人となる時間帯は余裕がなくなってしまう、丁寧な言葉かけができないこともあった。業務を終わらせることに必要以上にプレッシャーを感じる事のないよう、柔軟に引継ぎをしたり、効率の良い仕事の仕方を職員間で共有したりし、ご入居者様のためにも職員が気持ちに余裕をもってケアにあたることのできるよう体制を整えていきたい。

(2)多職種連携

会議の開催機会は少なかったが、随時、看護師やケアマネ等の多職種と相談しながら臨機応変にケア内容を検討・変更し、対応することが出来た。

(3)落ち着いた環境づくり

リビングの壁を季節の花木のクラフトアートで彩り季節感を演出し、入居者に喜んで頂くことができた。職員目線での創作活動にやりがちなため、今後は入居者目線での作成をしていきたい。

1. 医務

(1)長谷川式スケール実施状況 ※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢	性別	点 数							計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	0	0	0	0	3
85～89	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	1	2	1	0	0	2	8
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	2	1		1	1	0	7
計		5	5	5	1	1	1	2	20

(2)日常生活状況(ADLの状況)※令和7年3月31日現在 ※単位は人

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	10	6	4	2	5	13	0	13	7	3	9	8
前年度	13	3	4	3	5	12	0	15	5	4	9	7
区分	移 乗			寝 返 り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	0	10	4	6	8	6	4	1		2	5	8
前年度	0	9	5	13	2	5	5	1		0	9	5

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	39	36	60	62	62	65	93	120	122	124	112	124	1,019
処置	17	78	34	22	19	45	29	9	17	2	4	1	277
軟膏・湿布	141	99	78	77	37	42	47	30	69	46	73	63	802
テープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	31	50
救急対応	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
看取り	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	10	3	7	3	0	0	242
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数	0	0	217	1	0	0	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器内科	精神科	神経内科	口腔外科	
延人数	0	0	1	0	0	0	

(5)入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	86	86	76	76	48	70	65	85	81	71	80	73	897
わかくさ	85	84	82	88	83	81	83	84	85	69	84	85	993
合 計	171	170	158	164	131	151	148	169	166	140	164	158	1,890

2. 給食

(1)食事提供状況

①行事食(ユニット・とわ)

1	日 時	5 月 2 日昼食	行事名	出前食
	幕ノ内弁当			
2	日 時	6 月 15 日おやつ	行事名	とわ菜園
	茹でジャガイモ			
3	日 時	6 月 28 日おやつ	行事名	夏の味覚①
	スイカ・メロン			
4	日 時	8 月 21 日昼食	行事名	チャーハン作り
	チャーハン(通常の昼食に追加で提供)			
5	日 時	9 月 4 日おやつ	行事名	夏の味覚②
	かき氷			
6	日 時	10月 9 日昼食	行事名	とわ菜園
	さつま芋ご飯(通常の昼食に追加で提供)			
7	日 時	11月 13 日昼食	行事名	とわ菜園
	さつま芋ご飯(通常の昼食に追加で提供)			
8	日 時	11 月 13 日おやつ	行事名	100 歳誕生会
	ショートケーキ			
9	日 時	12 月 25 日昼食	行事名	餃子パーティー
	餃子(通常の昼食に追加で提供)			
10	日 時	12 月 26 日おやつ	行事名	とわ菜園
	スイートポテト			
11	日 時	2 月 28 日おやつ	行事名	手作りどら焼き
	どら焼き			
12	日 時	3 月 7 日おやつ	行事名	107 歳誕生日
	プリン			

(2)栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス(開催回数 18 回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	20	0	1	19	1	7	15	1	3	15	2	5	89

《考察》

5 月 2 日から 3 日にかけて、厨房内の排水工事で調理をすることが出来なかった。その間、BCP 訓練を兼ねた非常食の提供、出前の幕の内弁当、サンドイッチを購入するほか、ユニット内キッチンを利用し炊き込みご飯や、カレーライス等を作り対応した。

90 歳以上の入居者が増え、食事介助が必要な方が半数近くに増加してきた。嚥下の状態や栄養状態等を多職種協働で把握し、よりよい食事の提供で栄養状態を改善できるようにしていきたい。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数(開催合計 回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	4	1	5	5	3	7	4	2	3	7	2	6	49

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	2	3	0	1	0	2	0	0	1	0	1	10

《考察》

こまめに訪室し入居者や現場職員とコミュニケーションを図り、生活状況やニーズの把握に努め、多職種での情報共有を行った。ADL の低下や認知機能の低下等により介護量が増えた入居者が多くいたが、介護が必要なところばかりに目を向けるのではなく、少しでも残存機能を活かし、安全に元気ある生活が送れるようなケアプラン作成に努めた。また、ユニットケアの特性を活かし、本人の個性や、やりたいことを大切にケアを行えるように、アセスメント力を身に付けていきたいと感じた。

4. 委員会

(1) 委員会活動報告(以下はとわのみの委員会)

1	物品購入委員会(とわ)	オムツ類、洗剤類、リネン類の発注を行った。オムツの使用量が増加傾向にあった。
2	運営推進委員会(とわ)	前年度同様、委員会への参加が難しく、1 回のみとなってしまった。来年度は、積極的に参加し地域交流につなげていきたい。
3	リハビリ委員会(とわ)	作業療法士や機能訓練指導員による、個別のリハビリを行うことが出来た。来年度は、介護職員による機能訓練も積極的にと入れたいと感じた。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
4	3	お花見散歩	20	10	0	30
6	15	とわ菜園ジャガイモ収穫	7	4	0	11
7	12	日帰り旅行(従来と合同)	11	12	1	24
9	15	敬老祝賀会	20	7	0	27
1	3	正月式	20	7	0	27

《考察》

感染症委員会では BCP(感染症)の見直しをするなど活動的だった。委員会によっては、活動量の少ないところもあり、外出行事などがあまりできなかった。

5. ユニット費

① わかくさ

月平均額	年間累計
11,797 円	141,564 円

《考察》

とわ菜園の苗など、入居者と共に楽しむことが出来るものを購入した。コーヒーや紅茶などいつも同じものを購入しているので、入居者からリクエストをいただき購入出来たらよいと感じた。

② むべ

月平均額	年間累計
12,048 円	144,575 円

《考察》

日用品の購入が多かった。来年度は日用品だけでなく、入居者に楽しんでいただけるようなものに使用していきたいと思う。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

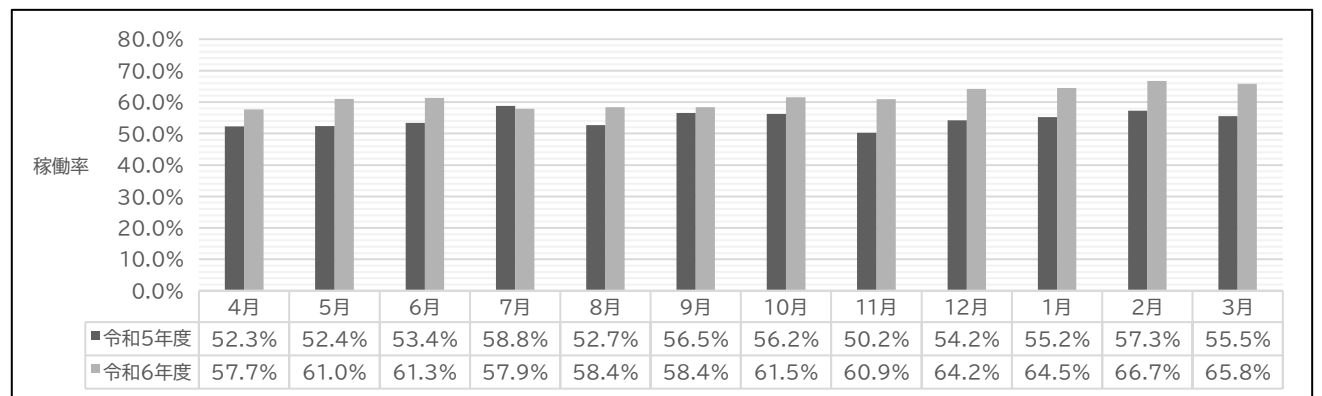
1. 運営

今年度は外部のケアマネジャーへの営業活動に力を入れた。実績報告時以外にも空き状況を伝えながら営業用チラシなど配布し、日々のこまめな状況報告も行なってきた。利用者、家族の抱える多様な要望(時短営業等)も積極的に受け入れてきたこともあり、新規利用が増え、前年度と比較すると延べ人数は521名増の4,747名となった。外出するイベントを増やし行事等の充実化を図り、飽きのこないデイサービスを目指した。1人でも多くの方に飛羽ノ園デイサービスを知っていただく取り組みとして飛羽ノ園のメモ帳を活用し、各事業所へ配布してきた。体験利用の依頼も増加し、利用者の継続した確保に繋がり、稼働率は10.3%上昇できた。今後も新規利用者獲得に向けて地域に出向き、ケアマネジャーとの更なる関係作りと特色を活かした運営を目標とする。

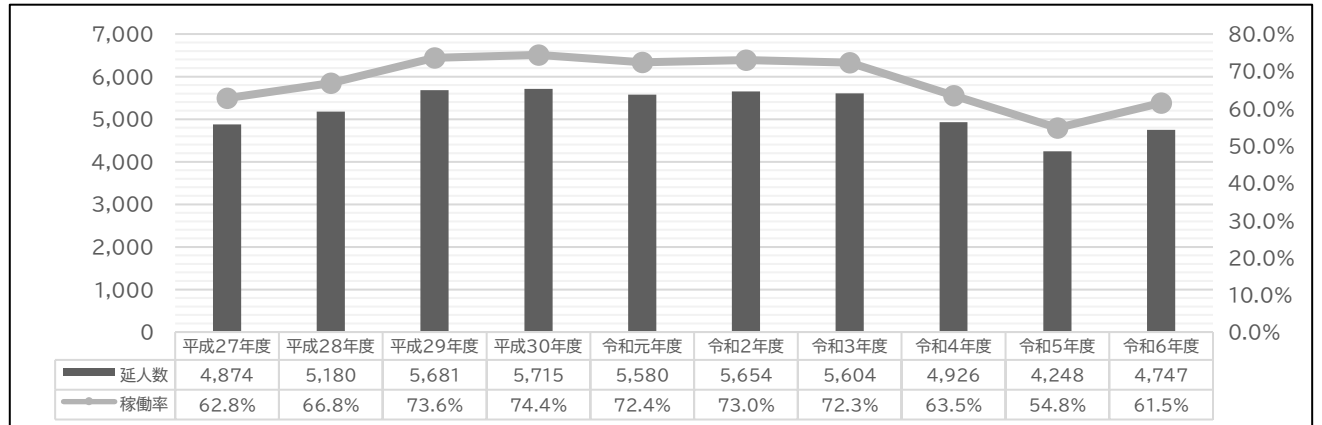
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運営日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309
実人数(名)	42	42	42	40	42	43	46	49	48	46	47	47	534
延人数(名)	375	412	383	391	394	365	415	396	401	387	400	428	4,747

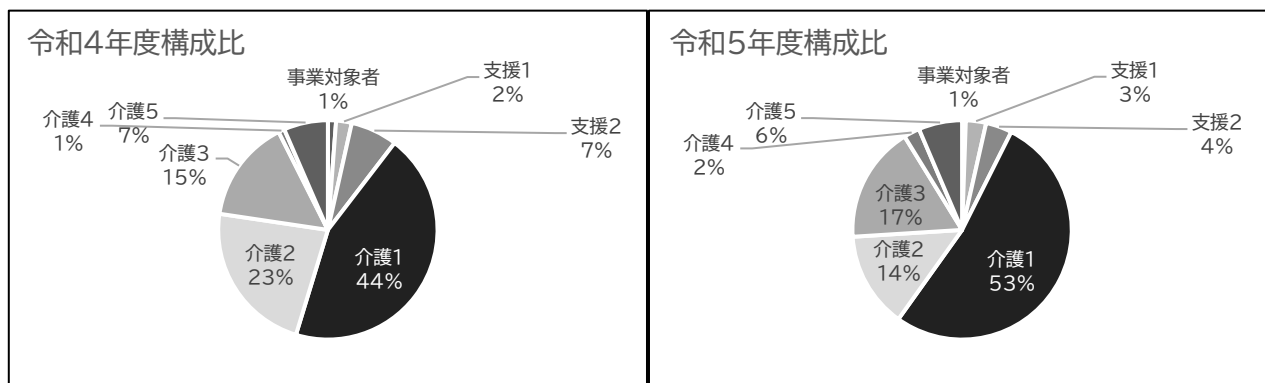


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和5年度	52	98	295	1,879	962	646	40	276	4,248
令和6年度	26	142	184	2,490	671	817	112	305	4,747



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取り組み

相談援助として、変化が見られた際はその日の内に家族・ケアマネジャーへ報告し、丁寧かつ迅速な援助に努めた。ヒヤリハット・事故報告では、月に一度の事故防止委員会にて他部署と事例検討した。現場職員には議事録や起案・報告書提出に加え、行事も担当制にする事で利用者の想いを汲み取り、個々が責任感をもって業務を遂行することが出来た。

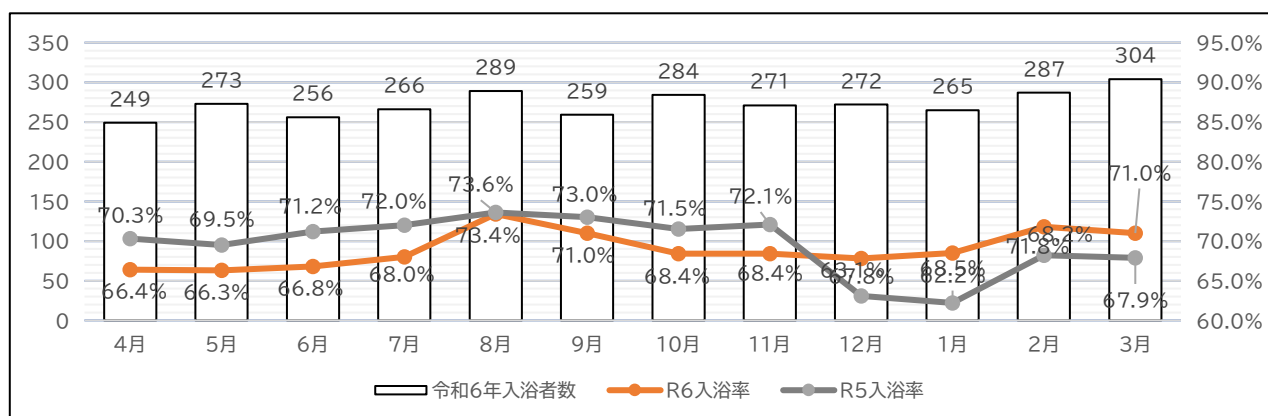
今年度は、デイサービス憩いの里へ介護職員を派遣し、法人内研修という形で他事業所での体験を経験することが出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

利用者の身体状況に変更が見られた際は都度、介護職や看護職リハビリ職と検討会を開き、多職種間でも情報共有を図り、計画・評価を行なった。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

今年度は、個浴や同姓介助を希望される利用者が増えた為、一人ひとりの要望に近づけるよう努めた。毎年実施しているゆず湯等季節に合わせたお楽しみ風呂の提供も大変好評だった。



(4) 食事サービス

季節の行事に合わせたイベント食(選択食)を厨房と協力し、定期的に実施した。おやつには手作りおやつイベント(柏餅・どら焼き)を年2回実施し、利用者からは大変好評だった。今年度も利用者からご飯のかたさや味付けについてなど意見があげられたが、都度給食担当者に伝えることで改善された点も多くみられ、利用者の満足にも繋がった。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

利用者一人ひとりの状態に合わせた排泄介助を行なった。頻尿の訴えのある利用者や、歩行不安定の利用者は都度、トイレまで付き添い対応している。車椅子の方が自分一人でトイレに行きたいと希望された際には、本人の意思を尊重し距離を置いての見守りのみで対応した。オムツ交換が必要な利用者は、定時でベッド上にて交換し、快適に過ごしていただけるよう努めた。

(6) レクリエーション・行事

昨年に引き続き外出行事を積極的に行なった。レクリエーション・行事については、感染症対策以前と変わらない活動を行う事ができ、新しいレクリエーション内容も取り入れる事が出来た。試みとして週1度のカスミ移動販売を取り入れ、買い物の楽しみを味わえた。創作活動については、季節感のある物の作成や個々の作品を作る事で楽しみや生きがいを感じていただける事が出来た。

【レクリエーション実施状況(回数)】

言葉の並び替え	9	ボーリング	11	大人の学校	5	脳トレ	10	しりとり	4
魚釣りゲーム	4	ちよんちよんゲーム	14	ダービーゲーム	5	鯉のぼり作り	3	お玉すくい	1
カーリング	9	つんでつんで	9	言葉の階段	5	漢字当てクイズ	3	文字穴埋め	1
替え歌	9	クロスワード	14	漢字の足し算	8	いつ?どこで	3	連想ゲーム	1
ビンゴ	6	絵心クイズ	15	お手玉点数ゲーム	4	足ボーリング	5	お楽しみ	3
文字入れ	4	ぐるぐるテープ	1	つみつみゲーム	1	俳句	4	お手玉投げ	1
言葉遊び	2	洗濯はさみしよう	1	県名当てゲーム	1	おやつ作り	2	市町村当てゲーム	1
つかめるかなゲーム	1	言葉探し	3	輪投げ	6	タオルボール	1	二文字入れ	1
計 40 種類									191

【行事実施状況(日数)】

城山公園散策	2	柏餅作り	2	紅葉ドライブ	6	フラダンスボラ	1	バラ散策	1
ボラ体操	1	敬老週間	5	ギターボラ	3	初詣ドライブ	6	買い物会	12
ボラ(河田氏)	1	フルートボラ	4	クリスマス会	2	節分	1	こたりの会	3
ボラ(工藤氏)	1	花見ドライブ	6	餅つき	1	よさこいボラ	1	計 19 種類	59

(7)個別機能訓練(介護)・運動器機能向上(第一号通所事業)サービス

利用者一人ひとりに機能訓練向上計画をたて、三ヶ月に一度目標に応じ作業療法士と共同し、機能訓練に努めた。利用者に合わせた自立支援を目指したサービスを提供した。作業療法士が廊下やホールにて定期的な歩行訓練を実施し、生活リハビリとして排泄や入浴時等日常的に立位保持の機会を持つことで、筋力維持が図られ、ADL や基本動作の維持向上に繋がった。現在の身体機能の状態確認やADLの遂行状態を確認しながら個々に合ったリハビリを実施できた。今年度は、機能訓練の一環として希望者に買い物リハビリを1ヶ月1回、実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
機能訓練(名)	376	426	381	371	383	353	402	384	391	380	389	417	4,653
合計	376	426	381	371	383	353	402	384	391	380	389	417	4,653

(8)送迎サービス

昨年同様、乗車時に長時間乗車による利用者の疲労軽減と業務の効率化に努めた。利用者・家族の希望を聞きながら、送迎時間(朝一番など)の見直しや、半日利用(午前・午後)の希望が多かったがニーズに沿った時間送迎を行ない大変好評だった。

【送迎状況(回数)】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
迎え	371	411	381	388	390	358	408	392	396	385	395	427	4,702
(減算)	(4)	(2)	(2)	(3)	(4)	(8)	(7)	(4)	(5)	(2)	(5)	(1)	(47)
送り	373	411	383	391	391	362	410	393	398	384	396	427	4,719
(減算)	(2)	(1)	(0)	(0)	(3)	(4)	(5)	(3)	(3)	(3)	(4)	(1)	(29)
延回数	744	822	764	779	781	720	818	785	794	769	791	854	9,421
(減算)	(6)	(3)	(2)	(3)	(7)	(12)	(12)	(7)	(8)	(5)	(9)	(2)	(76)

【送迎車両走行距離(km)】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	622	491	412	498	539	469	494	427	480	356	432	465	5,685
ステップワゴン	614	560	508	531	468	428	586	685	556	376	527	404	6,243
ヴォクシー・ノア	528	584	497	542	531	503	746	582	458	513	456	500	6,440
タント(デイ)	690	653	604	652	478	592	652	566	791	707	970	816	8,171
タント(居)	505	358	562	462	423	528	483	680	685	681	689	559	6,615
タント(特)	573	519	577	486	559	448	404	590	553	689	429	414	6,241
アルトバン	111	109	89	124	120	130	119	106	118	124	117	109	1,376
ハイゼット	318	299	331	393	332	268	328	328	299	282	344	365	3,887
合計	3,961	3,573	3,580	3,688	3,450	3,366	3,812	3,964	3,940	3,728	3,964	3,632	44,658

(9)看護報告(処置集計報告)

毎日のバイタル測定、月に一度の体重測定や希望時の体重測定、食事量のチェック、内服薬の確認や介助、排泄介助等を通じて、利用者の状態把握を行った。体調不良時には家族やケアマネジャーに連絡・報告を行ない、介護記録に記載する事で他職種と情報共有した。利用者や家族の希望に沿い、軟膏や湿布・点眼・処置・爪切りも引き続き実施した。感染予防対策として、手洗い・消毒・換気・マスクの着用・環境整備の実施にも努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
爪切り	8	8	8	16	14	7	8	6	8	7	3	5	98
軟膏塗布	98	104	94	108	119	99	112	107	112	118	133	164	1,368
点眼	4	6	5	3	4	4	4	5	11	8	9	14	77
内服薬	164	161	156	152	143	203	164	210	159	165	144	175	1,996
体重測定	43	43	43	42	44	44	42	48	48	44	47	45	533
湿布	25	35	35	23	27	28	26	29	26	25	24	29	332
ガーゼ	3	13	11	14	19	28	31	32	28	11	10	4	204
インシュリン	31	17	22	22	23	17	12	22	10	13	10	9	208
合計	376	387	374	380	393	430	399	459	402	391	380	445	4,816

(10)事故・ヒヤリハット報告

今年度は、職員による送迎時のヒヤリハットや事故が目立つ結果となった。自宅門や細道など接触してしまう恐れのある場所が多かったが、危険個所として事前に把握していた場所での事故も見られた為、今後さらに安全な送迎方法の有無を家族や CM とも連携して構築していく必要性を感じた。薬に関しては食前・食後等、内服までの確認を怠ったことで落葉や誤薬の事故がみられた。

男性利用者から女性職員へのセクハラ行為が目立ち、相談員から利用者へ注意を続けたことで改善がみられた。昨年度、報告書の多かった内容については今年度改善がみられた為、今年度の内容に関しても同じミスを繰り返さない様、相談員・副主任による職員一人ひとりの成長に合わせた指導・育成に努める。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・痛みなし	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
薬・医療関係	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5
車椅子からずれ落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
内出血・傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
トラブル・暴力・セクハラ行為	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0	6
行事中事故	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
送迎時トラブル	1	3	0	0	1	2	2	1	3	2	2	1	18
確認ミス(職員)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介護時ミス	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5
備品・物損	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
トイレ使用中ずり落ち	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歩行中力抜け	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
徘徊関係	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
合計	7	4	4	4	2	8	4	4	4	3	7	2	53

(11)地域連携・貢献活動(介護予防教室等)

今年度も在宅介護支援センター職員と協力し、公民館にて介護予防教室に参加した。来年度も関わりを継続して地域の方々との関係を強め、さらに地域に根差したデイサービス作りを目指す。地域交流としては、例年大好評の桜川保育園園児達との交流も継続することが出来た。今回も利用者手作りのペン立てや手作り箱、ねじり棒を卒園祝いとして贈ることができた。利用者から直接手渡し、交流を深めることができた。

(12)実習生・ボランティア受入

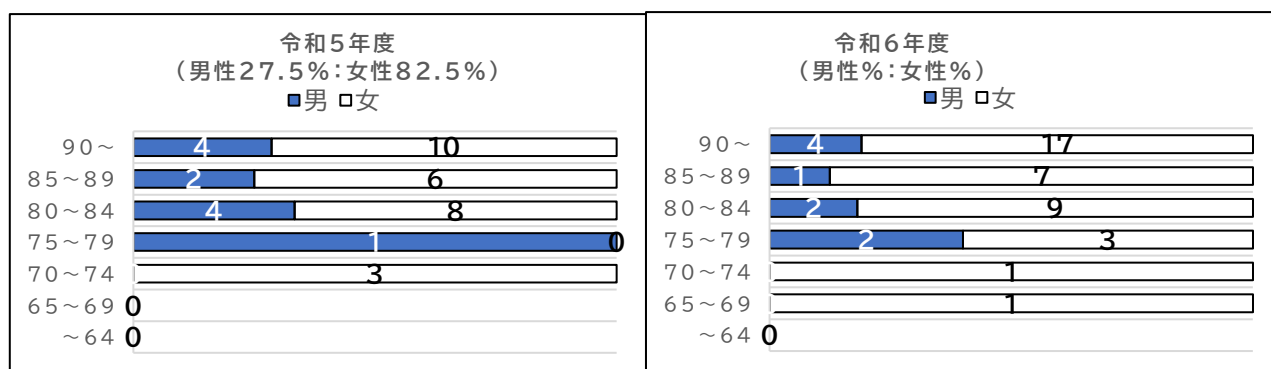
ギター・フルート・フラダンスなど様々な方々に来園していただき、利用者は大変喜ばれていた。9月にアール医療福祉専門学校より、実習生2名を受け入れた。来年度も感染対策を行ないながら積極的に実習生を受け入れていく。

4. 利用者状況

(1)登録利用者

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
R6	登録者数	42	42	42	40	42	43	46	49	48	46	47	47	534
	新規利用者	1	1	0	2	2	3	3	6	1	1	4	5	29
	利用終了者	2	0	1	1	1	2	3	1	2	2	1	1	17
R5	登録者数	41	41	39	43	45	44	43	43	43	45	44	45	516
	新規利用者	3	0	1	5	2	0	2	1	3	3	0	1	21
	利用終了者	1	0	3	0	1	3	0	3	2	0	1	3	17

(2)利用者年齢構成



(3)町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和6年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
霞ヶ岡	6	大岩田	3	富士崎	3	上高津	1
烏山	4	小松ヶ丘	1	下高津	2	小岩田東	1
桜ヶ丘	2	国分町	3	港町	1		
小松	5	天川	1	西根南	1		
若松町	1	蓮河原	1	中村西根	1		
東若松町	1	真鍋	1	永国台	1		
中高津	4	永国	2	永国東	1	合計	47

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
者数	2	3	2	26	0	14	0	0	0	47

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所運営体制

4月から、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名の体制でスタートし、9月には1名が主任介護支援専門員を取得し、3名が主任介護支援専門員として運営。特定事業所加算Ⅱを算定。また、介護支援専門員実務研修の実習生は2名受け入れを行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	90	87	88	96	97	100	104	105	109	108	109	106	1,199
市外	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	7
合計	91	88	88	97	98	101	105	105	109	108	109	107	1,206

令和6年度は、月平均 4.4 件の新規依頼、終了は月平均 2.8 件であった。また、契約はしたが、サービスに結びつかないケースや短期集中で終了してしまうケースが多くなってきている傾向がある。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うらら	20	19	21	20	20	21	20	20	19	20	19	20	239
かんだつ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10

要支援から要介護となるケースや新規依頼はあるものの、月平均 19.9 件となっている。

<居宅サービス契約者介護度別延べ件数・前年度との比較>

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R4年度	1	116	140	625	238	117	63	28	1,328
R5年度	18	111	120	790	225	102	57	34	1,457

要支援の利用者はやや減少しているが、要介護の依頼は増加傾向。要介護1の利用者が半数以上を占めている。要介護度が高くなると、すぐに施設入所や永眠等で短期間で終了となるケースもある。

3. 認定調査

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	2	4	4	2	6	6	1	2	7	6	3	10	53
県外	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6

昨年よりも 11 件増加したが、最近の傾向としては、介護保険の更新で、最長 4 年間で認定が出るため、認定調査の依頼も全体の件数から見ると、減少傾向である。

4. 研修

●合同事例検討会	
11月20日	合同事例検討会:包括支援センター・烏山診療所居宅・虹・ネクサス参加(飛羽ノ園)
●介護支援専門員:更新研修	
4月26日~12月21日	専門Ⅰ 左記の9日間(Zoom) 関
6月7日~8月17日	主任介護支援専門員 左記の10日間(Zoom) 沼田
●その他	
4月13日	医療・介護・障害同時改定における今後のケアマネジメントについて(Zoom)
4月18日	介護報酬改定(Zoom)
5月17日	土浦ケアマネジャー研究会 総会・講演会(四中地区公民会)
5月21日	ケアプラン検討委員会(Zoom)
5月24日 6月14日	訪問診療におけるケアマネジャーと医療機関の連携について(あいつくばクリニック)
6月8日	茨城県介護支援専門員協会総会及び講演会(茨城県ウェルビーイング福祉会館)
6月12日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症(サポートセンター)
7月11日	土浦かすみがうら地区総会・研修会(霞ヶ浦コミュニティセンター)
9月11日	法人内ケアマネ研修:認知症・プライバシー・倫理(サポートセンター)
10月1日	地域包括支援センターうらら研修会(二中地区公民館)
10月26日	土浦協同病院感染予防教育公開講座(土浦協同病院)

10月31日	地域包括支援センターかんだつ研修会（二中地区公民館）
12月11日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症（サポートセンター）
12月11日	土浦ケアマネジャー研究会 定例会（四中地区公民館）
12月12日	特定事業所向け説明会:実務研修実習受け入れについて（Zoom）
1月21日	在宅ケア事例検討会（土浦市医師会館）
3月11日	令和7年度介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業所説明会（四中地区公民館）
3月19日	土浦ケアマネジャー研究会 定例会 役員会（土浦市役所）

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(四中地区担当)

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1)台帳作成	106	(2)緊急通報	12	(3)配食サービス	22

前年度の合計件数が136件であり4件の増加。台帳作成に関しては12件の減少。これは継続的な支援が増えたことと、状況把握が難しく台帳作成まで至らないケースがあったためである。新規作成は 57件で前年度と変化なし。緊急通報システム業務件数は1件の増加。配食サービス業務件数は15件の増加。一人暮らしだけでなく夫婦世帯での依頼も増えた。

2. 相談

(方法×続柄集計)

続柄 方法		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	157	30	52	86	30	16	23	0	394
	来所	2	1	1	0	0	3	4	1	12
	訪問	272	8	6	0	0	0	2	1	289
時間外	電話	5	0	1	0	1	0	0	0	7
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	7	1	0	0	0	0	0	0	8
合 計		443	40	60	86	31	19	29	2	710

前年度の相談数合計506件と比較すると204件の増加。特に本人からの電話相談は3倍にもなっている。制度等だけではなく、精神的な面での相談が増えていて、核家族化や社会との繋がりが希薄になっていることが影響していると考えられる。安否確認で継続的に見守りの必要なケースが多々あり、関係機関と連携しながら支援を行なうことができた。

(相談区分×続柄集計)

相談区分 続柄	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援	59	7	2	4	6	0	2	1	81
(2)介護保険制度	100	4	14	14	9	3	4	0	148
(3)福祉サービス	131	13	4	63	3	11	11	0	236
(4)保健・医療	247	14	16	6	8	4	10	0	305
(5)経済・住まい	35	0	0	0	2	1	3	2	43
(6)地域の困りごと	0	1	4	1	0	0	0	0	6
(7)その他	241	16	27	6	17	5	6	0	318
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10)ケアマネジャー支援	1	1	0	0	1	0	2	0	5
(11)認知症関係	61	9	12	5	13	4	1	0	105
合 計	875	65	79	99	59	28	39	3	1247

前年度と比較し、特に(3)福祉サービス、(4)保健・医療の増加がみられる。(3)は家族が遠方、近くに住んでいても見守り等の支援が難しいことから相談が増えている。(4)は認知症や精神疾患、虚弱等で相談が増加傾向にある。民児協定例会に出席することで民生委員からの相談が増えている。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数(回)
(1)ふれあい調整会議	5
(2)スクラムネット会議	11
(3)その他(在支連絡調整会議等)	29
合 計	45

今年度も在支連絡調整会議では市や関係機関との意見交換が設けられ共通認識ができた。また支援向上のため実務対応勉強会が開かれた。民児協定例会に出席することで地域や対象者の把握、共有ができて支援がスムーズに行えた。

スクラムネット会議やふれあい調整会議では複雑化したケースが増えていて、制度だけでは補えない問題も多くあったが、多職種の様々な方々から意見を頂き支援の参考にすることができた。

4. 動向と考察

独居や精神疾患からの相談が増えていて、家族との関係性や地域との繋がりが希薄化していることが影響と考えられる。

認知症や虚弱者で支援がないと生活が困難な状況にあるが、本人・家族が必要を感じていないケースが多々みられ、関係機関と連携を密にしてアプローチをしていきたい。本人や家族から直接の相談が増えていて、在宅介護支援センターが地域で定着しつつある。今後も高齢者の地域の身近な相談窓口として周知をしていくとともに、介護保険を利用される方が増加傾向にあるため介護予防の周知も地域に向けて発信していきたい。

令和6年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一
施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315
T E L 029-829-3030
F A X 029-829-3031
U R L <https://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

昨年度から引き続き、感染対策とコロナ過前からの「当たり前の生活」の両立を工夫し取り組んだ1年であった。施設全体で開催する納涼祭、敬老会、クリスマス会については昨年同様にご家族を招き、入居者、家族、職員が一体となって楽しめるよう、ご家族参加型の企画を実行し開催することができた。また、日帰り旅行も再開することができたことで、入居者様、ご家族からも大変好評をいただいた。行事終了後は体調確認を行い、早期発見、早期対応を心掛けた。その結果、行事を開く事での感染症クラスター等の発生はなく終えることができた。面会に関しては、時間制限と面会場所の制限を設けて感染対策を行うと共に生活の見える化に努め、入居者、家族双方の満足度向上に努めた。結果としては期末の3月にコロナ感染症が発生し、面会制限を強いられる期間が発生したが、職員一丸となって乗り切った。

「当たり前の生活」に向けたケアでは、大きな改善は見込めなかったが、入居者様ニーズを叶える事を考え、この施設に入って良かったと思ってもらえるよう、安全、安心、信頼の施設として今後も発展させていきたい。

<重点目標>

① 入居者を知る

入居者を知るためのツールの運用について課題は残るが、居室担当制を継続しニーズ抽出に努めた。居室での面会が再開になった事で、担当職員が家族とコミュニケーションを図ることが出来るようになり、入居者を知る事にも繋がっている。現状はユニットリーダーが主に家族とやり取りを行っているが、次年度は居室担当が主となり、どの職員も窓口となりコミュニケーションを図れるようにしていきたいと考えている。

② 記録・入浴に重点を置いた業務の見直し

記録に関しては統一書式を用いることを継続している。ユニット間の異動があるので統一書式を用いることを継続し負担を軽減していきたいと考えている。入浴では2ユニット毎に1台のリフト式浴槽が配置でき、協力ユニット間で様々な介護状態の利用者に対応できるようになった。下半期は職員不足が顕著となり、特殊浴槽を合同で活用する等の方法で対応した。早期に職員不足を解消し、入浴体制の見直しを行っていききたいと考えている。

③ ノーリフティングケアの推進

前年度からの引き続きで、ノーリフティングケアのを推進しているが、職員の入替りや人員不足があり、ノーリフティングケアの定着は上手く広がらなかった。今後は、ノーリフティングケアの講習会や腰痛予防教室、他施設での取り組みの見学などを行えるように事前準備を進め、ノーリフティングケアの推進を通して職員定着の一助となるよう取り組んでいきたい。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

年度当初はロング SS 利用者が入居となった事で稼働率が低下していたが、その後の営業活動やロング SS 利用の受け入れを積極的に行い、稼働率が上昇している。目標の数値には及ばなかったが、安定して7割を超える利用を確保できた。今後も安定した稼働率を確保できるように、ケアマネジャーと積極的にコミュニケーション、連携を図っていききたい。

3. 稼働率報告

種 別	入 居		ショートステイ	
年 度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年間ベッド数(最大)	25,620	25,550	3,660	3,650
延べ人数	25,272	24,215	2,789	2,932
稼働率(%)	98.6	94.8	76.2	80.3

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	2	1	4	1	1	2	2	2	2	1	0	0	18	22
退居	3	1	3	1	0	4	2	0	4	6	2	1	27	17

(2) 入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅(小規模多機能含む)	15	永眠(施設内)	23
病院	2	永眠(搬送先)	4
老健	1	居宅	0
特養	0	特養	0
合計	18	合計	27
前年度計	22	前年度計	17

(3)要介護度別 ※令和 6 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別		人数計(名)	前年度人数(名)	前年度増減
	男性	女性			
1	1	0	1	0	+1
2	2	5	7	8	△1
3	7	19	26	35	△9
4	4	15	19	22	△3
5	0	7	7	7	±0
合 計	14	46	60	72	△12
平均要介護度	3.0	3.5	3.4	3.4	±0

(4)年齢構成 ※令和 6 年 3 月 31 日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養(名)	男性	0	0	1	1	2	6	4	14
	女性	0	0	0	3	2	14	27	46
合計		0	0	1	4	4	20	31	60
前年度		0	0	2	4	9	19	35	69

(5)入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数 (延人数)	1(30)	6(180)	34(997)	22(640)	8(234)	71(2,081)
5		1(31)	5(155)	34(1,054)	21(643)	8(248)	69(2,131)
6		1(30)	5(150)	35(1,001)	23(625)	8(240)	72(2,046)
7		1(31)	5(155)	34(1,054)	22(667)	8(223)	70(2,130)
8		1(31)	5(155)	33(1,014)	23(656)	7(217)	69(2,073)
9		1(30)	6(155)	34(987)	23(638)	7(202)	71(2,012)
10		1(31)	5(161)	34(1,039)	22(662)	7(162)	69(2,055)
11		1(30)	6(180)	33(990)	23(683)	7(195)	70(2,078)
12		1(31)	6(186)	34(968)	25(724)	6(163)	72(2,072)
1		1(31)	6(186)	31(929)	23(650)	7(194)	68(1,990)
2		1(28)	8(224)	28(771)	19(532)	7(196)	63(1,751)
3		1(31)	7(217)	27(782)	19(554)	7(217)	61(1,801)
R6		12(365)	70(2,104)	391(11,586)	265(7,674)	87(2,491)	825(24,220)
R5		8(245)	73(2,187)	416(12,527)	238(7,018)	112(3,295)	847(25,272)

《考察》

退所者が出る前から状況調査(電話及びケアマネとの連携)を行い、迅速に次の入所を入れることができた。下半期は介護職、看護職ともに人員不足となり、スムーズな入居案内を行う事が出来なかった。年度末の3月以降は職員体制が整ってきているので入居申込者への連絡調整や実態調査を進め満床に向けた準備をしている。

(6)短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数 (延人数)	0(0)	0(0)	3(11)	4(42)	4(50)	9(122)	1(16)	21(241)
5		0(0)	0(0)	2(10)	4(22)	6(69)	8(101)	1(15)	21(217)
6		0(0)	0(0)	3(17)	6(21)	5(68)	8(99)	1(18)	23(223)
7		0(0)	0(0)	2(9)	7(62)	6(68)	7(101)	1(17)	23(257)
8		0(0)	0(0)	2(7)	6(55)	5(83)	7(87)	1(23)	21(255)
9		0(0)	0(0)	2(6)	4(48)	7(88)	7(72)	2(32)	22(246)
10		0(0)	0(0)	3(18)	6(25)	9(126)	5(64)	4(39)	27(272)
11		0(0)	1(2)	3(19)	3(15)	8(129)	4(54)	1(12)	20(231)
12		0(0)	0(0)	3(21)	2(11)	10(151)	5(31)	2(29)	22(243)
1		0(0)	0(0)	2(7)	7(45)	10(155)	2(15)	2(52)	23(274)
2		0(0)	0(0)	1(3)	5(34)	9(134)	2(14)	1(27)	18(212)
3		0(0)	0(0)	1(4)	4(41)	10(172)	2(14)	1(30)	18(261)
R6		0(0)	1(2)	27(140)	58(421)	89(1,293)	66(774)	18(310)	259(2,932)
R5		0	0(0)	25(162)	70(679)	87(1,199)	40(661)	7(81)	229(2,789)

《考察》

令和6年度は前年度よりも介護度が高い利用者の受け入れや緊急利用などの受け入れを行い、ニーズに沿った対応を迅速に行った。例えば、冬季に利用者のコロナウイルス感染が相次いで発生した際には、ご家族と相談し一時受け入れを行うこともあった。また職員不足となってもサービス継続が途絶えることないよう、既存の利用者を優先しサービス提供に努めた。

2. 医務

(1)MMSE 実施状況 ※30 点満点中 23 点以下は認知症の可能性が高いと言われている(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	2	0	0	3
80～84	男	1	0	1	1	0	0	1	4
	女	1	0	1	0	0	1	0	3
85～89	男	0	0	0	4	1	2	0	7
	女	3	2	1	4	2	3	2	17
90～94	男	0	1	0	0	1	0	0	2
	女	1	2	5	3	3	3	0	17
95～	男	0	0	1	1	0	1	0	3
	女	0	2	3	1	1	0	2	9
合計		6	8	12	15	10	11	5	67

(2)日常生活状況(ADL の状況)※令和 6 年 3 月 31 日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	7	1	0	3	5	0	2	4	2	2	4	2
R5 年度	8	0	0	2	6	0	1	3	4	1	3	4
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	8	0	0	8	0	0	3	0	0	5	0	0
R5 年度	6	2	0	8	0	0	2	3	0	1	2	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	8	1	1	1	6	3	1	6	3	1	6	3
R5 年度	7	1	2	1	4	5	1	6	3	1	6	3
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	2	6	2	9	0	1	1	0	0	2	0	7
R5 年度	1	6	3	6	1	3	2	1	0	2	1	4

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	7	1	2	3	3	4	0	9	1	2	5	3
R5 年度	8	2	0	4	6	0	0	8	2	2	6	2
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	6	1	3	7	1	2	4	0	1	2	0	3
R5 年度	7	3	0	8	1	1	4	0	0	2	2	2

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	5	0	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2
R5 年度	7	1	2	1	7	2	0	3	7	1	2	7
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	3	0	4	3	2	2	2	0	0	1	0	4
R5 年度	4	4	2	6	2	2	3	0	0	3	0	4

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	7	0	2	4	3	2	3	4	2	3	4	2
R5 年度	9	0	1	4	5	1	3	6	1	3	6	1
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	5	2	2	5	2	2	3	0	0	4	0	2
R5 年度	5	3	2	7	2	1	2	0	0	5	1	2

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	7	0	1	2	5	1	0	7	1	3	4	1
R5 年度	9	1	0	5	4	1	0	8	2	0	8	2
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	4	3	1	7	0	1	3	0	0	3	1	1
R5 年度	7	2	1	10	0	0	3	0	0	5	1	1

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	4	2	1	2	4	1	0	6	1	0	6	1
R5 年度	8	1	1	2	7	1	0	9	1	0	9	1
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	2	4	1	2	4	1	2	0	0	2	2	1
R5 年度	4	5	1	4	5	1	3	1	0	2	3	1

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	7	1	1	2	6	1	0	7	2	2	4	3
R5 年度	4	5	1	3	5	2	0	8	2	3	5	2
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R6 年度	4	2	3	5	3	1	3	1	0	1	2	1
R5 年度	4	4	2	4	4	2	3	0	0	2	3	2

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	189
処置	0	0	0	0	155	0	81	137	104	55	60	81	673
軟膏・湿布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テープ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
救急対応	0	0	0	0	2	1	1	1	2	2	0	1	10
お看取り	3	1	3	1	0	3	2	0	4	4	2	0	23

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	その他
延人数	35	576	36	10	0	6	38
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	合計
延人数	0	4	408	8	0	0	1,121

(5)入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	74	70	73	82	90	90	89	78	83	88	70	92	979
特浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	74	70	73	82	90	90	89	78	83	88	70	92	979

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	52	44	46	56	57	54	62	58	64	62	60	64	679
特浴	32	44	24	24	27	32	26	24	27	27	19	18	324
清拭	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	1	9
合計	84	88	70	80	84	86	89	88	91	89	80	83	1012

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	83	86	79	85	84	78	80	77	75	76	73	74	950
特浴	0	3	0	0	0	6	3	9	9	9	8	9	56
清拭	0	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	6
合計	83	89	80	86	86	84	84	86	85	85	81	83	1012

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	70	84	65	70	69	64	70	67	80	70	51	31	791
特浴	16	9	9	9	9	6	4	8	3	1	1	6	81
清拭	0	0	0	1	2	8	2	8	3	1	1	6	32
合計	86	93	74	80	80	78	76	83	86	72	53	43	904

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	77	80	72	82	81	73	81	69	70	73	58	21	837
特浴	6	8	8	8	8	9	7	12	16	13	8	7	110
清拭	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	5
合計	84	88	80	90	89	82	88	83	86	86	66	30	952

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	79	81	74	71	75	69	79	78	73	65	70	29	843
特浴	7	9	9	9	9	8	9	7	8	9	8	5	97
清拭	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	13	18
合計	87	90	83	81	84	79	88	86	81	74	78	47	958

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	80	78	77	87	92	82	80	77	73	72	52	32	882
特浴	7	7	1	0	0	8	8	7	9	9	8	8	72
清拭	1	5	0	2	0	1	0	1	0	1	2	2	15
合計	88	90	78	89	92	91	88	85	82	82	62	42	969

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	69	65	61	64	62	51	72	72	66	68	64	38	752
特浴	18	14	18	26	18	8	8	6	7	7	5	3	138
清拭	1	2	0	0	0	6	0	2	0	0	0	3	14
合計	88	81	79	90	80	65	80	80	73	75	69	44	904

3. 給食

(1)令和 6 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	I 補給 -	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン A	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,600	55.0	40.5	550	9.0	520	0.8	0.8	85	8.0
4 月	1,499	55.9	41.6	622	6.8	580	0.73	0.65	65	7.3
5 月	1,494	55.1	41.7	623	6.5	581	0.72	0.65	65	7.3
6 月	1,497	57.1	41.3	640	6.4	607	0.77	0.66	68	7.2
7 月	1,506	55.3	43.4	594	6.7	620	0.75	0.64	71	7.3
8 月	1,498	55.7	41.6	611	6.5	581	0.75	0.64	66	7.2
9 月	1,492	55.7	41.0	609	6.6	590	0.72	0.63	63	7.4
10 月	1,490	55.9	40.8	610	6.4	592	0.73	0.65	64	7.1
11 月	1,504	55.5	41.2	627	6.7	586	0.73	0.64	67	7.3
12 月	1,500	56.1	42.0	617	6.9	613	0.75	0.65	66	7.3

1月	1,495	56.9	40.8	621	7.1	593	0.71	0.65	63	7.3
2月	1,489	55.5	40.7	634	6.9	593	0.73	0.65	69	7.2
3月	1,492	55.7	41.5	636	6.6	553	0.73	0.63	75	7.3

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合 計
特養	24,113	24,027	24,186	72,326
ショートステイ	2,415	2,944	2,430	7,789
デイサービス	0	5,690	0	5,690
職員	0	3,715	0	3,715
来客	0	0	0	0
実習生	0	12	0	12
延人数	26,528	36,388	26,616	89,532

②選択食

日 時	A	B
6/27	チキンの具沢山タルタル焼き	白身魚の具沢山タルタル焼き

④ 行事食

1	日 時	4/9～4/11～	行事名	おやつバイキング
				フルーツグラタン、桜ようかん、桜蒸しパン、みたらし風ムース、ハンバーガー、えびグラタン
2	日 時	4/29	行事名	お花見弁当
				そら豆ご飯、若竹汁、鰯の照り焼き、エビフライ、ホタテフライ、菜の花の白和え、春野菜の炊合せ、香物、フルーツ
3	日 時	4/16	行事名	海鮮丼
				サーモンと漬けマグロ丼、清汁、茄子の味噌炒め、黒ごまプリン
4	日 時	5/5	行事名	子どもの日
				鶏五目ちらし、清汁、天ぷら盛合せ、やわらか杏仁～オレンジソース～ おやつ：鯉のぼりパンケーキ
5	日 時	5/6～5/8	行事名	新茶イベント
				新茶
6	日 時	5/24	行事名	外国メニュー
				ビビンバ丼、中華スープ、白菜の梅ドレ和え、フルーツ
7	日 時	6/21	行事名	梅雨を乗り切るメニュー
				天丼(えび、かぼちゃ、茄子、ピーマン)、清汁、大根の酢の物、オレンジ おやつ：紫陽花ゼリー
8	日 時	7/5	行事名	七夕
				七夕そうめん、かき揚げ、夏野菜ソテー、オレンジ おやつ：天の川ゼリー
9	日 時	7/24	行事名	土用の丑の日
				ひつまぶし、清汁、香味奴、抹茶ゼリー
10	日 時	7/28	行事名	納涼祭
				焼きそば、フランクフルト、かき氷、チョコバナナ
11	日 時	7/30	行事名	夏のスタミナメニュー
				夏野菜のキーマカレー丼、コンソメスープ、スナックエンドウのサラダ、桃ムース
12	日 時	8/6～8/8	行事名	アイスイベント
				アイスクリーム 2 種
13	日 時	8/7～8/9	行事名	冷し麺
				冷やし中華、肉団子の甘辛煮、小松菜とえのきの和え物、いちごムース
14	日 時	8/15	行事名	お盆
				赤飯、清汁、鶏肉の磯辺焼き、きんぴらごぼう、いちごヨーグルト
15	日 時	9/9	行事名	重陽の節句
				栗ご飯、清汁、赤魚の粕漬焼き～焼きなす添え～、菜の花のお浸し、梨
16	日 時	9/16	行事名	敬老の日
				ちらし寿司、清汁、厚揚げの野菜あんかけ、桃ムース
17	日 時	9/22	行事名	敬老会
				赤飯、清汁、天ぷら盛り合わせ、鶏肉のゆず風味焼き、刺身 2 点盛り、炊き合わせ、五色なます、かぼちゃパバロア
18	日 時	10/7～10/9	行事名	おやつバイキング
				抹茶ティラミス、ミニパンケーキ、二色ようかん、かぼちゃプリン、フライドポテト、ハムカツパン
19	日 時	10/15	行事名	十三夜
				月見そば、肉団子の甘辛煮、かぼちゃサラダ、いちごムース
20	日 時	10/30	行事名	ハロウィン
				チキンピラフ、コンソメスープ、ミートボールシチュー、ミモザサラダ、チョコプリン

21	日 時	11/6～11/8	行事名	焼き芋
	焼き芋(紅はるか)			
22	日 時	11/22	行事名	秋の行楽弁当
	きのこご飯、清汁、エビフライ、ホタテフライ、鮭の塩麹焼き、牛肉と根菜の甘辛炒め、厚焼卵、香物、柿			
23	日 時	12/15	行事名	クリスマス会
	トマトチーズのリゾット、チキンのポテト焼き、エビとアボカドの彩サラダ、フルーツヨーグルト おやつ:ケーキ			
24	日 時	12/21	行事名	冬至
	ほうとう風うどん、肉団子の甘辛煮、かぶの柚子漬			
25	日 時	12/24	行事名	クリスマス 1
	チキンピラフ、コンソメスープ、エビフライ、ラタトゥイユ、いちごのレアチーズ			
26	日 時	12/25	行事名	クリスマス 2
	サフランライス、コンソメスープ、鶏肉のパン粉焼き、紫キャベツとエビのごまドレサラダ、クリスマスプリン			
27	日 時	12/31	行事名	年越しそば
	年越しそば、エビの天ぷら、白菜のごまだれサラダ、オレンジジュース			
28	日 時	1/1	行事名	おせち
	赤飯、清汁、ブリの照り焼き、おせち盛合せ、みかん おやつ:お汁粉			
29	日 時	1/2	行事名	お正月メニュー
	海鮮親子ちらし、清汁、筑前煮、抹茶ゼリーの黒蜜かけ おやつ:紅白ようかん			
30	日 時	1/4	行事名	お正月メニュー
	稲荷寿司、清汁、天ぷら盛り合わせ、春菊のポン酢ジュレ和え			
31	日 時	1/7	行事名	七草粥
	七草粥、みそ汁、つみれと大根の煮物、うずら豆			
32	日 時	2/3	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鰯のゆず味噌煮、寒天ゼリー			
33	日 時	2/17	行事名	海外メニュー
	ロコモコ丼、コンソメスープ、いんげんのわさびマヨ和え、オレンジゼリー			
34	日 時	2/20	行事名	天皇誕生日
	握り寿司、清汁、天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し			
35	日 時	3/3	行事名	ひなまつり
	鮭ちらし寿司、清汁、厚揚げの野菜あんかけ、オレンジ			
36	日 時	3/25	行事名	洋食イベント
	オムライス、コンソメスープ、ハンバーグ、エビフライ、スパゲティサラダ、いちごミルクプリン			

(3) 栄養ケアマネジメント

① 栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	15	21	31	17	21	30	18	20	29	13	18	30	263

今年度は、多職種と積極的に意見交換を行い、より適切な栄養ケアを検討することができた。次年度は早期の栄養介入を強化し、低栄養や褥瘡の発生を少なくできるように努める。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	8	6	9	12	15	12	11	12	12	13	12	8	130

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	2	4	0	2	0	2	3	0	3	1	4	0	21

③ 区分変更申請

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和 6 年度は定期的なカンファレンス・ケアプランの見直し、委託業務である認定調査を行った。次年度は、入居者一人々の状態の理解を深め、今まで以上にサービス計画書に反映させていけるように努めていく。

5. 委員会

(1)委員会活動報告・反省

①委員会

1	入所検討委員会	冬季にコロナ感染症が発生し、毎月開催することはできなかった。入所検討に対して資料が不十分なところがあったので、要点を絞った聴き取りを行っていききたい。以前よりも申込者が減少しているので積極的なアプローチも検討していききたい。
2	防災対策委員会	今年度は「煙体験」を取り入れたことで改めて火災現場で発生する煙の恐怖を味わうことができた。また煙を区画で抑えるなど避難時の重要な対策を考える事にも繋がった。今後の防災管理・BCPの更新などを協力して行い活用できるようにしていきたい。
3	権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	勉強会を開催し虐待防止、身体拘束適正化に向けての知識を深めることができた。今後は外部研修などを通じて現在問題になっている内容を収集し、事例検討会を行いたいと考えている。
4	安全管理委員会	委員会の定期的な開催、勉強会を行い事故の予防に努めてきた。来年度は新しい担当者を増やして事故防止、安心安全な生活の提供を行えるようにしていきたい。
5	感染予防委員会 (安全衛生委員会)	感染予防委員会を定期開催、臨時開催することで感染対策を更新してきた。冬季にコロナ感染症が発生し収束まで時間がかかってしまった。コロナだけでなく食中毒、季節性の感染症、今まで流行がなかった感染症にも注意して、入居者の健康管理を行っていききたい。
6	職場定着委員会	職員交流のイベントの開催を目指していたが、開催までは至らなかった。職員定着に向けて職場内の環境整備や交流を深めるなどの企画を行っていきけるようにしていきたい。
7	給食委員会	今年度も提供している食事について、委託業者も交えて意見交換することができた。しかし後半は開催できない月が続いたため、毎月開催できるように調整を行う。また、リクエストメニュー等も積極的に取り入れることができたため、次年度も入居者・職員に喜んで頂けるような食事を提供できるように努める。
8	褥瘡予防委員会	委員会を定期開催し、多職種で連携することで褥瘡の予防、対応を行ってきた。介護記録に夜間の体位交換記録を入力出来るようになり、褥瘡予防につながっている。今後も看護職、栄養士、介護職を中心として多職種で連携をして知識を共有し褥瘡予防に努めたい。
9	物品購入委員会	オムツの発注ではユニット毎に詳細な枚数を出してもらい無駄がないような発注を心がけている。常時使用している物品が欠品となることがあったが、代替品を手配し業務に支障がないように努めてきた。来年度に向けて委員の入れ替わりがあるので、申し送り態勢をしっかりと行い抜けがないようにしていきたい。
10	入浴委員会	今年度はりんどうユニットにリフト式の浴槽を導入できたことで、協力ユニット単位でリフト浴での入浴が可能となり、スムーズに入浴できるようになっている。今後は入居者の体調変化、ADLに合わせた入浴方法の提供を行えるようにしていきたい。
11	ノーリフティング委員会	4つのユニットのトイレの改修と以前より計画していたリフト式浴室の改修を行い、職員の腰痛予防の環境整備が進んだ。入居者様の入退所により、介助方法も見直す機会があり、腰痛予防や移乗方法について検討を行っていく。腰痛予防研修や他施設見学等を計画していきたい。
12	記録委員会	前年度から引き続き記録の統一化を行っている。今後は外国人労働者が入職してくることも想定した記録のやり方を模索していきたい。

(2)全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	家族	合計
7	28	納涼祭	66	33	64	163
9	22	敬老祝賀会	68	24	63	155
12	15	クリスマス会	66	28	61	155
1	3	正月式	67	22	0	89

(3)ユニット行事

①あじさい

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/10	苗植え(花)	6	2	0	8	7/8	創作レク(花火)	5	2	0	7
4/20	チジミ	7	2	0	9	10/31	お好み焼き	6	3	0	9
5/5	創作レク(こいのぼり、ひよこ)	5	2	0	7	11/20	焼き芋	6	2	0	8
6/4	創作レク 脳リハ	7	2	0	9	2/6	節分 豆まき	9	2	0	11

②りんどう

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/7	花植え	10	2	0	12	10/19	ゼリー作り	10	2	0	12
5/7	鯉のぼり作成	10	3	0	13	11/29	さつま芋、おやつ会	10	2	0	12
5/11	母の日	10	4	0	14	12/29	誕生日	10	3	0	13
6/16	父の日・柏餅作り	9	4	0	13	12/15	クリスマス会	10	3	0	13
7/22	誕生日・パフェ作り	10	4	0	14	1/24	駄菓子作り	10	4	0	14

7/28	納涼祭	10	4	0	14	2/12	脳リハ(数字合わせ)	10	2		12
8/25	お寿司・風船バレー	10	2	0	12		脳リハ(牛乳パックジェンガ)	10	1		11
10/24	さつま芋ご飯	10	3	0	13						

③つつじ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/14	さくら餅作り	9	3	0	12	11/29	鍋作り	10	3	0	13
5/20	誕生日会	10	3	0	13	1/6	誕生日会	10	2	0	12
6/26	誕生日会	10	3	0	13	2/2	節分の豆まき	10	1	0	11
8/16	そうめん・天ぷら作り	10	4	0	14	2/12	誕生日会	10	3	0	13
9/8	誕生日会	10	2	0	12	3/6	誕生日会	10	1	0	11
10/19	誕生日会	10	2	0	12						

④カンナ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/26	誕生会	10	2	0	12	11/30	誕生会	10	2	0	12
5/31	外食	2	4	0	6	12/10	かな忘年会	10	2	0	12
6/26	ヨモギ団子作り	10	2	0	12	1/25	おでん作り	10	2	0	12
7/22	おやつ作り	10	2	0	12	2/5	節分	10	1	0	11
8/31	誕生会	10	1	0	11	2/26	バレンタインデー	10	2	0	12
9/10	おやつ作り	10	2	0	12	3/23	誕生会	10	2	0	12
10/31	牛久大仏ドライブ	4	5	0	9						

⑤ひまわり

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/30	出前食	8	2	0	10	10/18	スイートポテト作り	9	3	0	12
5/82	誕生会	10	2	0	12	11/13	誕生会とおやつ会	9	2	0	11
6/18	誕生会と父の日	10	4	0	14	12/30	年末くじ引き大会	9	2	0	11
7/20	あんころ餅作り	10	6	0	16	3/13	出前食	9	3	0	12
8/24	おやつ作り	10	2	0	12						

⑥ばら

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/25	誕生日会	10	2	0	12	10/13	誕生日会とパフェ作り	10	3	0	13
5/12	母の日とおやつ会	10	2	0	12	11/18	鍋パーティー	10	4	0	14
6/27	誕生日会	10	3	0	13	12/20	誕生日会とおやつ作り	9	3	0	12
7/19	誕生日会	10	3	0	13	1/19	甘酒付きおやつ会	9	2	0	11
8/16	噴水フルーツポンチ作り	10	4	0	14	2/24	鬼除け汁	9	2	0	11
9/20	おやつ作り	9	2	0	11	3/30	誕生日会	8	2	0	10

⑦すいせん

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/28	出前食 お寿司	10	2	0	12	11/9	プリンパフェ	10	3	0	13
6/29	誕生会	10	3	0	13	12/27	出前食 お寿司	10	2	0	12
7/27	初めてのミスド	10	3	0	13	1/21	季節の上生菓子	9	3	0	12
8/31	スイカ割り	10	2	0	12	2/16	合同ラーメンフェス	8	2	0	10
9/15	秋のお茶会	10	2	0	12	3/31	春のお茶会	7	1	0	8
10/28	出前食 うな重	10	3	0	13						

⑧コスモス

日付	行事名	入居者	職員	家族	計	日付	行事名	入居者	職員	家族	計
4/15	桜餅作り	10	2	0	12	10/17	かぼちゃのスープ作り	10	3	0	13
5/21	居酒屋レク	10	2	0	12	11/11	季節のケーキ&お茶会	10	2	0	12
6/7	フラワーパーク	3	3	0	6	12/22	冬至・ゆず湯	10	2	0	12
6/22	ばんだう太郎・市内ドライブ	2	2	0	4	1/10	豆腐餅のおしるこ作り	10	2	0	12
7/16	フルーツポンチ作り	10	2	0	12	1/24	八坂神社へ初詣	2	2	0	4
8/29	室内果物狩り	10	2	0	12	2/28	桜紅茶と桜バウムクーヘン	10	2	0	12
9/28	誕生会・パフェ作り	10	3	0	13	3/23	今川焼デコレーション	9	2	0	11

(4)ユニット費

ユニット名	月平均額	年間累計	ユニット名	月平均額	年間累計
あじさい	7,342 円	88,105 円	ひまわり	8,291 円	99,496 円
りんどう	10,031 円	120,380 円	ばら	7,619 円	91,429 円
つつじ	8,557 円	102,682 円	すいせん	9,882 円	118,579 円
カンナ	9,562 円	114,739 円	コスモス	10,001 円	120,019 円

- ・あじさい リハビリ用品や簡易的なカラオケ機器、お花の苗など、利用者様のご希望などを聞き取り行いながら、QOL の充実を目指しユニット費の有効活用に努めた。
- ・りんどう 皆様に充実した、生活を送っていただくために、生活用品を中心に個々が選択できるようにし、好みやタイミングに合わせた物を出せるように費やした。
- ・つつじ 季節を感じて頂くためのユニット内の装飾材料、おやつや食事を視覚でも楽しんでいただけるような器等など、利用者様の笑顔を引き出せるような演出を作るために費やした。
- ・カンナ 季節を感じていただくため、ユニット内の飾りつけを中心に購入し季節感を味わえるように努めた。
- ・ひまわり 入居者に季節感を演出するために飾りつけを行い、四季を感じてもらえるように努めた。また過ごしやすい環境を作り出すための環境づくりに努めた。
- ・ばら 模造紙・折り紙・花紙・カラーペン等を購入し皆さんで四季折々の壁飾り作成に取り組みました。
- ・すいせん 入浴剤を購入し入浴時に好みの入浴剤を選んで頂いた。また、料理に合わせて食器が選択できるように食器類を購入した。更におやつ時間にコーヒーや紅茶、ココアなど好きな飲み物を選択出来るようにした。清潔に生活できるような環境整備に費やした。
- ・コスモス ユニット内の季節に合わせた飾りつけや、利用者様が居心地よく過ごしやすい環境作りに取り組んだ。

6. 研修

(1)内部研修報告(施設内勉強会)

実施日	内容	参加人数(名)
4/11	BCP 災害対応:シュミレーション・初動対応	38
6/11	権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止	44
7/12	事故防止①	31
9/11	感染症:食中毒	39
10/11	BCP 感染症:シュミレーション・ゾーニング	25
12/11	権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止	64
12/11	認知症基礎研修	58
1/14	口腔衛生	54
1 月中	感染症:ガウンテクニック(業務内に開催)	61
2/12	口腔衛生	53
2 月中	感染症:排泄物・嘔吐物処理(業務内に開催)	55
3 月中	事故防止(業務内に開催)	56
合計		578

(2)外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数	オンライン
コーチング研修 A	8/8	ユニットリーダー	リーダーに必要「聴く」スキルとコツを身に着ける	1	
認知症介護実践者研修	5/15 から 7/17	介護	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を習得する	1	
霞ヶ浦医療センター感染症対策座談会	6/21	看護	感染症対策について	2	
チームリーダー研修 A	9/5	ユニットリーダー	職員から信頼されるリーダーになるためには	1	
伝わるビジネス文書講座	7/1	生活相談員	ビジネス文書の基本を学ぶ	1	
地域包括支援センターかんだつ	10/1	生活相談員	適切な事業所運営に必要なこと	1	
認知症実践者研修	10/2 から 11/28	介護	認知症ケア	1	
ユニットリーダー研修	10/8 から 10/11	ユニットリーダー	実地研修	1	
給食研究会ブロック合同研修会	10/22	管理栄養士	栄養ケア計画の書き方を知ろう！	1	
いばふく超熱血塾 あなたと対話	11/4	施設長	尾中友哉氏による講演	1	
ユニットリーダー研修	11/12 から 11/15	ユニットリーダー	実地研修	1	
霞ヶ浦医療センター感染症対策座談会	12/20	看護	感染症対策について	2	
産業労働分野 ポイントを押さえて知る研修	12/17	施設長	メンタルヘルス		1
合 計				14	1

集合研修に多く参加することができた。来年度から必要な研修も多くなっていることから、様々な職員に外部研修に行ってもらい、学んだことを施設内でアウトプットできるようにしていきたいと考えている。

7. 実習生受入れ

学校別集計(デイサービスを含む)

東京通信大学	社会福祉学部 社会福祉学科	令和 6 年 4 月 15 日～4 月 25 日	1 名
流通経済大学	介護等体験	令和 6 年 7 月 1 日～7 月 5 日	1 名
		令和 6 年 8 月 5 日～8 月 9 日	1 名
聖教大学	通信教育学部 社会福祉学科	令和 6 年 8 月 26 日～9 月 6 日	1 名
	心理・福祉学部 社会福祉学科	令和 7 年 3 月 17 日～3 月 28 日	1 名
アール医療福祉専門学校	看護学科	令和 6 年 10 月 27 日～10 月 30 日	6 名

8. ボランティアの受け入れ

介護相談員の受け入れを後期より再開しているが、感染症対策及び感染症発生に伴い、実績としては12月、3月のみの受け入れとなっている。今後は他のボランティアの受け入れを徐々に行っていき、入居者の楽しみに繋げていきたい。

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

今年度は、上半期平均利用者数が21名と前年比2名増、下半期は、平均利用者数が18.7名で前年比1.1名減となった。年間通しての平均利用者数は19.9名となり、令和5年度の19.4名と比べ0.5名増となった。利用者数の変位として、年末から体調不良者が多く見られ1月から利用者数の減少が強く見られた。

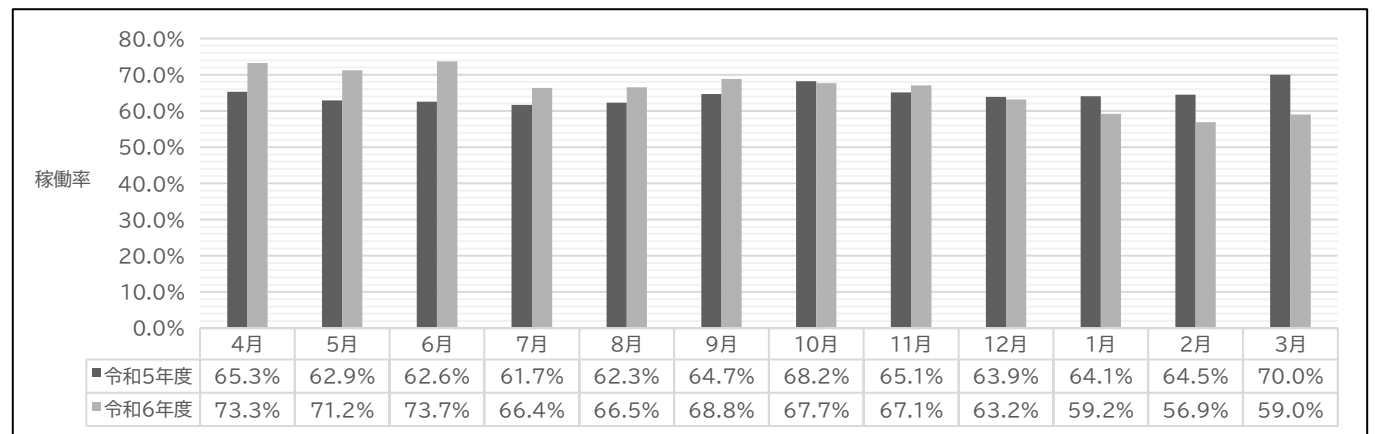
一年を振り返り、利用者、家族の希望に沿った利用時間での受け入れの継続の他、地域のボランティアを積極的に受け入れ、ヘアメイクやガマの口上、フットマッサージ等の行事を開催した。これらの行事は利用者様からも好評を得ることが出来た。継続して利用者・家族とのコミュニケーションを大切にする事で、個々の思いや生活課題を抽出する事ができ、年度の事業目標をかたちにできた一年となった。

その他、地域交流、地域福祉の貢献活動を目的とし、地域交流スペースにて介護予防教室の開催を行う他、実習生の受け入れを行なうなど外部からの受け入れが出来た。

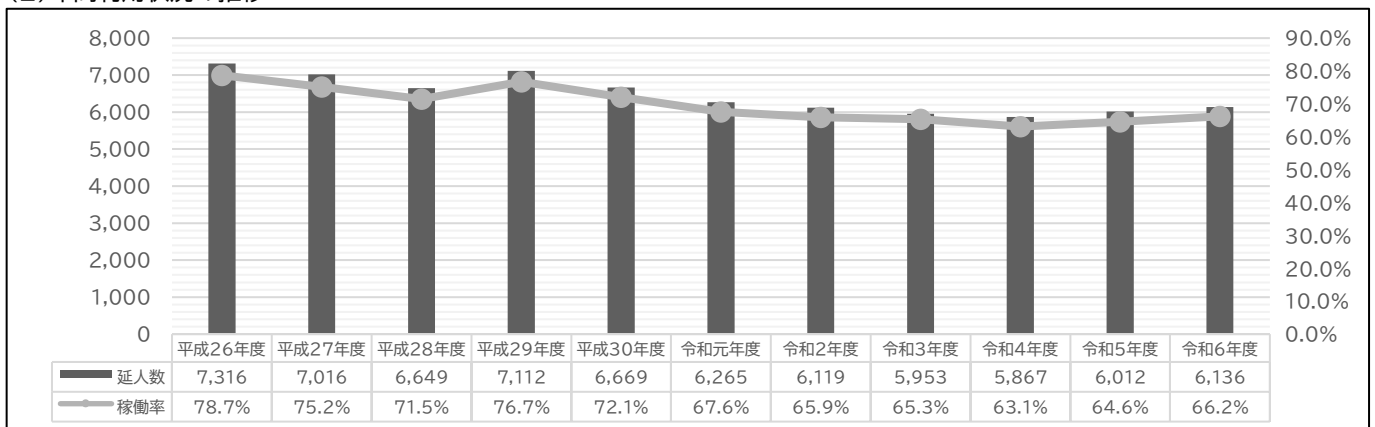
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運営日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309
実人数(名)	61	66	64	63	66	65	66	63	61	57	57	55	744
延人数(名)	572	577	553	538	539	516	548	523	474	426	410	460	6,136

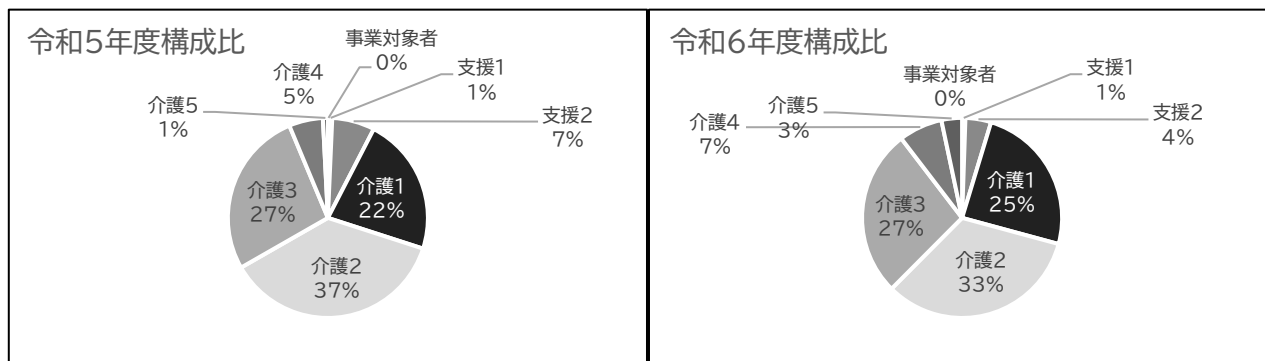


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和5年度	12	30	414	1,346	2,213	1,622	328	47	6,012
令和6年度	0	33	255	1,504	2,041	1,665	434	204	6,136



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

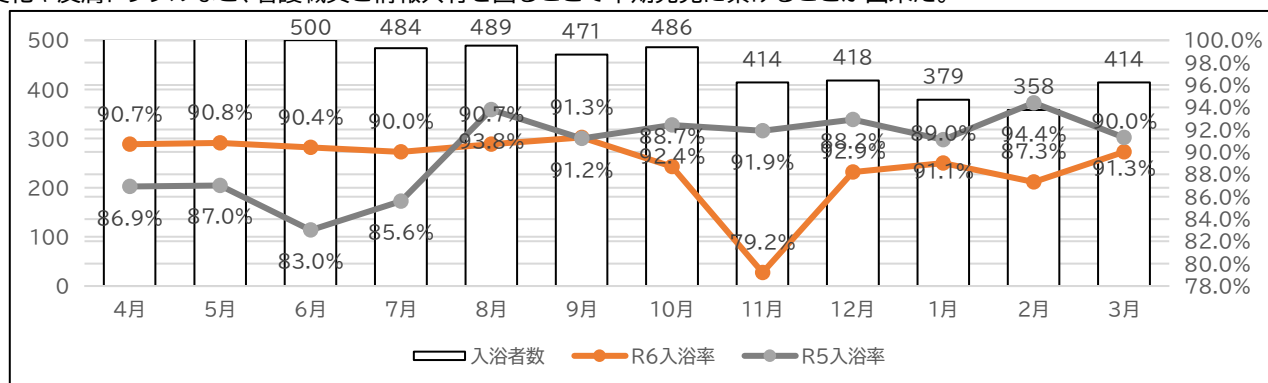
利用者や家族、ケアマネジャー、多職種とサービス担当者会議にて居宅サービスに沿って検討し、利用者様のニーズを明確にした上でサービス提供を行う事が出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者が在宅で生活を行っていく為に必要な支援内容を記載し、定期的な見直しを行った。また、利用者の状態変化があった際にはケアマネジャーや家族に随時連絡しつつ見直し及び連携を図った。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

利用者 1 人 1 人の身体状況を把握し、安心安全を心掛けながら、その方にあった入浴サービスを提供することが出来た。また体調の変化や皮膚トラブルなど、看護職員と情報共有を図ることで早期発見に繋げることが出来た。



(4) 食事サービス

管理栄養士と連携を図り、おやつバイキングや、季節に合わせたイベント食等バラエティーに富んだ食事を提供する事ができ、利用者からも喜びの声を頂いた。嚥下機能が低下した方に対し関連職種で情報共有し、一人一人に合わせた食事形態で対応する事も出来た。また、食事前に口腔体操を取り入れ利用者様の嚥下機能を維持できるよう努め、わずかな人数であるが粥から軟飯、ミンチ食から常食きざみと食形態が向上する利用者様も見られた。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

作業療法士・看護職員と共に協力し合いながら、利用者のプライバシーを守り、一人ひとりのADLを把握・確認を徹底し、その人に合った介助サービスに努める事が出来た。利用者の体調や皮膚状態の確認の他、排泄つの間隔や状況の把握を徹底し、家族やケアマネジャーへの報告・連携に努めた。

(6) レクリエーション・行事

今年度も感染症対策を施設内で共有を図り、感染のリスク因子を排除しながら、外出・外食行事を行う事が出来た。それに伴い外部からのボランティアの受け入れを増やし、様々な行事を開催することができた。利用者様からもガムの口上やヘアメイク、フットマッサージに関し「懐かしい、斬新な取り組み、リラックスできた、綺麗お洒落と言われ嬉しい気持ちになった」等、多くの感想が寄せられた。

【レクリエーション実施状況(回数)】

輪投げ	23	都道府県クイズ	6	風船バレー	16	輪に玉	4
マキマキ	16	射的	5	ボール送りゲーム	2	球で的あて	2
買い物ゲーム	8	新聞ちぎり	10	レングリレー	5	脳トレ(漢字・計算)	12
ボール送り	3	ビー玉ストロー	12	お餅ひっくり返し	4	魚釣り	19
絵合わせカルタ	6	ボーリング	26	しりとり	15	だるま送り	3
連想ゲーム	15	傘で玉入れ	16	風船送りゲーム	2	ペットボトルバッティング	3
ビンゴ	2	詰め放題	1	飛ばせ!!ポップコーン	2	鬼退治	2
傘被りゲーム	1	物干しゲーム	12	新聞紙レーダー	4	計 31 種類	257

【行事実施状況(回数)】

桜お花見ドライブ	5	フットマッサージ	1	夏祭り	4	ヘアメイク	2
買い物ドライブ	8	敬老週間	5	クリスマス会	2	ガマの口上	2
音楽ボランティア	2	運動会週間	5	餅つき	1	バーベキュー	1
甘味ドライブ	15	おやつ作りイベント	4	初詣ドライブ	11	保育園交流会	1
計 16 種類	69						

(7)個別機能訓練(介護)サービス

個別機能訓練加算としては人員配置の都合上 7 月までの加算算定であったが、計画自体は継続し下肢・上肢運動や階段昇降練習、平行棒を利用した歩行練習を継続して行い、利用者様の機能維持・向上に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
機能訓練(名)	46	53	54	47	0	0	0	0	0	0	0	0	200
合計	46	53	54	47	0	0	0	0	0	0	0	0	200

(8)送迎サービス

利用者を安全に送迎できるよう、デイサービス送迎時に確認した危険個所と市のハザードマップを活用し安心・安全の送迎を実施できた。大きな事故等なく一年間安全な送迎を提供できた。

【送迎状況(回数)】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
迎え (減算)	570 (6)	570 (8)	547 (6)	533 (5)	532 (7)	510 (6)	544 (4)	517 (5)	467 (8)	411 (17)	397 (14)	442 (18)	6,040 (104)
送り (減算)	556 (17)	560 (17)	536 (17)	525 (13)	521 (18)	501 (15)	529 (19)	509 (13)	458 (16)	402 (24)	391 (19)	446 (14)	5,934 (202)
延回数 (減算)	1,126 (23)	1,130 (25)	1,083 (23)	1,058 (18)	1,053 (25)	1,011 (21)	1,073 (23)	1,026 (18)	925 (24)	813 (41)	788 (33)	888 (32)	11,974 (306)

【送迎車両走行距離(km)】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	930	748	881	860	841	808	788	929	817	742	632	783	9,759
ヴォクシー①	796	897	847	903	921	718	724	697	748	624	610	667	9,152
ヴォクシー②	918	813	788	929	875	888	736	845	778	588	662	646	9,466
旧シエンタ	780	769	596	641	703	732	804	716	579	624	587	368	7,899
新シエンタ												216	216
タント	1,251	1,157	1,094	1,121	1,077	1,174	1,120	1,112	972	975	870	830	12,753
合計	4,675	4,384	4,206	4,454	4,417	4,320	4,172	4,299	3,894	3,553	3,361	3,510	49,245

(9)看護報告(処置集計報告)

利用者の体調確認、早期異常の発見の為、朝の送迎時体温測定を継続し、来園後のバイタル測定を介護職員と連携して行った。入浴時、全身の皮膚状況確認、必要に応じ軟膏処置、湿布貼付等施行。こまめな手洗い、消毒、うがい、マスク着用を行なった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内服薬	246	265	260	242	247	198	213	195	176	181	158	183	2,564
軟膏塗布	405	392	366	343	331	328	326	293	292	289	302	307	3,974
湿布	44	30	48	46	53	43	43	49	25	28	42	35	486
点眼	94	91	88	96	102	98	90	65	64	65	69	84	1,006
爪切り	65	35	34	34	34	31	23	21	29	41	28	34	409
体重測定	61	60	58	63	60	54	55	60	57	54	53	50	685
合計	915	873	854	824	827	752	750	683	643	658	652	693	9,124

(10)ヒヤリハット報告

今年度は転倒やソファ上からのずり落ちの他、利用者様の忘れ物が多く見受けられた。転倒リスクが高い利用者様の対応方法を検討・実施すると共に、忘れ物が無いよう帰りの送迎前に職員間で荷物チェックに関し声出し確認を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・ずり落ち	0	2	0	1	1	0	3	1	0	0	0	0	8
トラブル	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車の物損	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	4
内服薬	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
備品・物損	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
職員確認ミス	1	2	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	7
苦情	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	7	1	4	2	2	4	7	1	0	0	0	29

(11)地域連携・貢献活動(地域交流スペースいこっ茶にて介護予防等の啓発事業)

日時	テーマ・講師	参加者数
R6.6.2	テーマ・みんなで学ぶ認知症予防 講師・体操・横山	11名
R6.11.17	テーマ・みんなで知る認知症 VR 体験 講師・シルバーウッド、黒田様	38名
R7.3.9	テーマ・認知症予防と食事 講師・飯田管理栄養士	25名予定→コロナにて中止

デイ・地域交流スペースを活用し、地域交流、地域福祉貢献を目的とした、介護予防等の啓発事業(いこっ茶)を開催した。地域・民生委員に呼びかける他、地域スーパーや市役所、福祉専門学校等に広報活動を行い、上記参加者を地域から募ることができた。

参加者との交流の他、広報活動の際に各地に回することで、憩いの里のイベント等の PR に繋げることができた。

(12)実習生・ボランティア受入

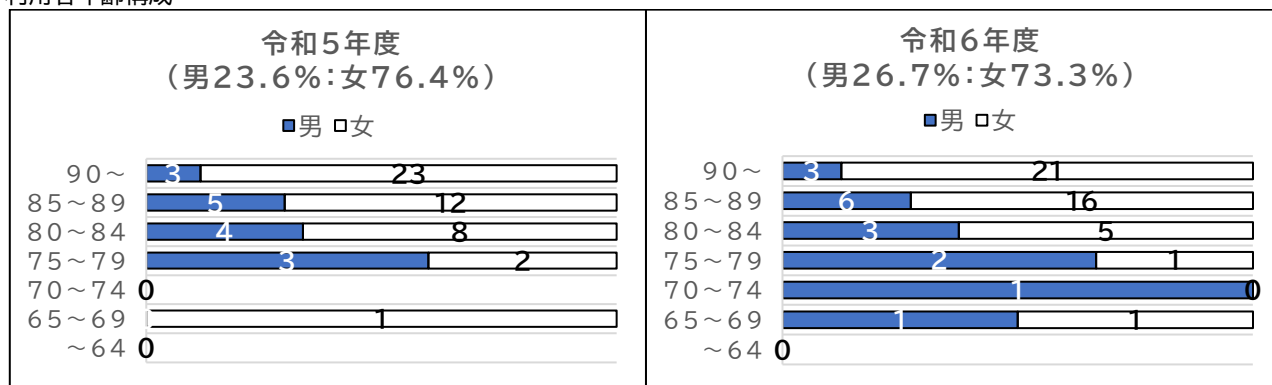
ボランティア団体「こもれびの会」と連絡・調整を行い、月に2回(第2・第4水曜日)活動していただいた。傾聴やお茶出しを行っていただき、職員で賄えない部分を担っていただいた。利用者様の地域交流、社会参加の意識の向上を図ることができた。また、ボランティアの方も活動意欲が増すよう職員が積極的に関わり交流を図った。大学、専門学校から社会福祉士の実習受け入れや看護師過程の実習を等積極的に受入れした。

4. 利用者状況

(1)登録利用者

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
R6	登録者数	63	67	67	69	71	68	71	71	68	64	61	60	800
	新規利用者	3	5	0	5	4	2	4	2	2	1	1	1	30
	利用終了者	1	0	2	3	5	1	2	2	7	5	2	5	35
R5	登録者数	65	63	63	64	66	69	71	65	65	63	61	61	776
	新規利用者	3	4	5	4	6	4	5	2	1	2	3	0	39
	利用終了者	3	8	0	4	2	2	10	1	5	5	0	1	41

(2)利用者年齢構成



(3)町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和7年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	11	本郷	3	藤沢新田	1	高岡	7
田土部	3	下坂田	1	上坂田	2	大志戸	3
大畑	6	東城寺	1	並木	6	都和	2
西真鍋	1	永井	4	真鍋	2	沢辺	1
中貫	4	板谷	1	小山崎	1	合計	60

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
登録者数	0	3	0	0	0	0	12	45	0	60

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

3名体制。5月から特定事業所加算(Ⅲ)を算定開始し運営。加算算定に伴い、毎週事業所内で情報伝達会議を行い、担当ケースだけの把握ではなく事業所全体で状況把握を行い、困難な課題が生じたときには事業所内で支援方法の検討を行った。また他居宅支援事業所共同事例検討会の開催、介護支援専門員実務者研修の実習生1名受け入れを行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	59	66	62	67	68	70	74	75	77	79	78	79	854
市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	60	67	63	68	69	71	75	76	78	78	79	80	866

月平均 72.1 件。施設入所や永眠などによる終了もみられているが、月平均 3.7 件新規受け入れを積極的に行い件数増加することができた。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
かんだつ	14	15	17	16	15	15	15	17	20	20	20	20	204
うらら	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

月平均 18 件。本人や家族からの直接の依頼や地域包括支援センターからの新規相談に積極的に対応することで相談依頼の増加を図ることができた。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

介護度 年度	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
令和 5 年度	3	67	118	316	260	122	38	27	951
令和6年度	0	88	134	404	239	181	57	19	1122

昨年同様に要介護1の利用者が最も多く、件数も昨年度に比べ約 1.2 倍増加した。また、要支援者、要介護 3、要介護 4 の認定者の増加がみられており、ご夫婦の依頼も増えている。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	3	2	2	5	4	5	3	3	4	1	4	3	39

認定調査は、39 件実施した。

4. 研修

	内容	参加人数
4 月	法人内『新人研修』(サポートセンター)	1 名
	県南地区会『医療・介護・障がい同時改定おける今後のケアマネジメント』(zoom)	3 名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1 名
5 月	介護不幸ゼロ「介護による離職」(Zoom)	3 名
	土浦ケアマネージャー研究会『令和 6 年度報酬改について』(zoom)	3 名
	茨城県認定調査員新規研修(zoom)	1 名
	仕事と介護の両立支援の基本の「き」～改正育児・介護休業の生かし方～(Zoom)	3 名
6 月	事業所内『権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化 勉強会』	2 名
	事業所内『介護報酬改定ポイント BCP・高齢者虐待』	2 名
	法人内『BCP 研修(自然災害、感染症)』『ヤングケアラー』	3 名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1 名
7 月	つくば地区会『ケアする家族のケア』(つくば市役所)	1 名
	令和 6 年度つくば市 BCP 研修会 (つくば市役所)	1 名
	土浦・かすみがうら地区会 介護報酬改定からよみとろう！ ～「ケアマネジャー」が魅力ある職種であるために～	1 名
	言語聴覚士が考える高齢者のリハビリテーション～食べる編～	1 名
	主任介護支援専門員 更新研修(zoom)	1 名
8 月	BCP 机上訓練 防災シミュレーター、伝言ダイヤルの使い方	3 名

	高齢者虐待防止研修『身体拘束廃止マネジメント』(Zoom)	3名
	279 オープンセミナー『身体拘束廃止マネジメント』(zoom)	3名
	施設内『食中毒について』	1名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
9月	法人内『認知症の権利を守る』『ハラスメント』『プライバシーと個人情報』(サポートセンター)	3名
	279 オープンセミナー『どうするシャドーワークへの対応』(zoom)	3名
10月	地域包括支援センターかんだつ・うらら『個人情報、ハラスメント、クレームに対する必要な体制作り』(二中公民館)	3名
	事業所内『虐待&身体拘束防止研修』	3名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
11月	主任介護支援専門員更新研修(zoom)	1名
	他事業所共同研修『事例検討会』(居宅華林・居宅シルトピア)	3名
12月	主任介護支援専門員更新研修(zoom)	1名
	法人内『感染症まん延防止』『BCP』『虐待』(サポートセンター)	3名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
1月	施設内『歯科講話』	1名
	主任介護支援専門員更新研修(zoom)	2名
	他事業所共同研修主催『事例検討会』(居宅華林・居宅シルトピア)	3名
2月	土浦・かすみがうら地区会『精神疾患を抱える方や家族の対応』(新治公民館)	2名
	都和地区ふれあい調整会議(都和公民館)	1名
3月	土浦市地域包括主催『介護予防支援ケアマネジメント委託業務事業所説明会』(四中公民館)	2名
	紡ぐ会『年間計画立案&目標達成具体策』適切なケアマネジメント手法』(zoom)	2名

土浦市在宅介護支援センター憩いの里 土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(新治地区担当)

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1)台帳作成	19	(2)緊急通報	0	(3)配食サービス	5

今年度、特別業務合計は24件となった。台帳作成、配食サービスに大きな変化は無かった。緊急通報システムに関して、新治地区では独居であっても同一敷地内に家族がいることが多い為、家族や本人からの依頼があっても設置するまでには至らなかった。

2. 相談

(方法×続柄集計)

方法 続柄		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	15	11	14	5	24	6	7	0	82
	来所	2	0	4	0	6	0	0	0	12
	訪問	109	45	16	5	12	16	7	0	210
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		126	56	34	10	42	22	14	0	304

今年度の相談数合計は304件と前年比38件増加となった。件数増加の背景として民児協を通したセーフティネットが機能し民生委員となじみの関係性や連携を築くことが出来た。結果、情報提供や同行訪問の依頼が増え、地域連携にて問題解決に向けて動くことが出来た。

(相談区分×続柄集計)

方法 続柄	本人	家族	民生委員 近隣の方	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援	124	24	35	11	41	31	10	0	276
(2)介護保険制度	60	18	15	6	26	18	8	0	151
(3)福祉サービス	75	18	6	24	21	16	8	2	170
(4)保健・医療	12	2	5	0	14	8	5	0	46
(5)経済・住まい	16	6	3	0	10	5	3	0	43
(6)地域の困りごと	8	0	6	3	6	6	0	1	30
(7)その他	84	13	11	4	24	15	5	1	157
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	1	0	1	1	0	0	0	3
(10)ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)認知症関係	10	6	10	6	4	3	1	0	40
合計	389	88	91	55	147	102	40	4	916

前年度と比べ相談件数が全体的に減少傾向にあるが、特に(1)家族の支援、(2)介護保険制度の減少が目立った。主な理由として、スクラムネット会議で挙げた困難事例の対応に専門職が時間を割いた事で、民生委員、社協、包括と協力しながら早期解決や予防的な取り組みができたためと考える。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数(回)
(1)ふれあい調整会議	6
(2)スクラムネット	12
(3)その他	23
合 計	41

今年度は、各定例会は通常通りの開催となった。会議に出席し顔を合わせる事で、多職種間の連携強化、より多くの情報共有、意見交換ができた。特に、民生委員児童委員定例会の開催があった事で、地域の顔つなぎの場を持つことができ、スムーズな情報共有から訪問活動へ繋げることができた。

4. 動向と考察

今年度は民生委員からの情報提供、地域ケアコーディネーターとの同行訪問が増えた一年であった。また社会福祉協議体主催の「新治地区ひとり暮らし会食会」に参加することができ、地域資源として憩いの里デイサービス職員を活用したりハビリ体操を実施し、参加者に楽しんで頂きながら予防的支援ができた。今後も連携を密にしてい事でコミュニティ作りに参画し活動の幅を広げたい。

次年度も民生委員や社協、地域包括支援センター等との連携を強化して訪問回数を増やし、地域の高齢者の実態把握に努めるとともに、「在宅介護支援センター憩いの里」が地域の身近な相談窓口として機能出来るよう、関連 機関とともに多職種連携を意識し行動していきたい。

令和6年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

桜川保育園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 宇都野 和司

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

T E L 029-821-8341

F A X 029-823-0390

U R L <https://showfukai.com>

E-Mail sakuragawa@showfukai.com

【1】運営（運営方針に対する報告）

令和6年度は開園から5年目を迎える節目の年で、地域の皆様の温かいご支援とご協力のなか、「共に手をつなぎ、今を生き生きと過ごし、未来にはばたく力を育んでいきます」という保育理念をもとに年度当初から全職員で努力と創意工夫を重ね、保育の質の向上に努めてきた。その結果として『いばらき保育の魅力コンテスト』において、「子どもの成長部門」と「保護者の安心部門」の部門で入賞することができた。

「子どもの成長部門」では、野菜や米作りをとおした子どもたちが生命の大切さを学ぶ機会の提供および昨年度から強く意識して活動が続けているSDGsの取り組みが、「保護者の安心部門」では、開園当初から導入しているICTを活用した事務効率化や連絡機能などを利用した保護者とのコミュニケーション連携により信頼関係の構築ができていたことが高く評価された。

5歳児においては当園ではじめてとなる米作りピザ作りに挑戦し、農業や調理のプロセスを体験することで、食べ物への興味や感謝の気持ち、自然環境への感謝や生命の尊さを学んだうえ、友達と協力して作業を進めることで、コミュニケーション能力やチームワークの大切さを知り、協調性を育むことにもつながった。

初めての受審となった『福祉サービス第三者評価』では、客観的な評価により保育内容や運営体制の改善点を明確にすることができた。その評価結果を公表することで、保護者や地域社会に対して信頼性を高め、保育の質向上や透明性の確保に大きく寄与することになった。

また、全職員で認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の基本的な知識、認知症の方との適切なコミュニケーション方法を学ぶことで、認知症の方やその家族が地域社会で安心して暮らせるよう、保育園が地域の一員としての役割を果たすことを目指した。

令和7年3月21日に挙行了した第5回卒園式において、土浦市保育所民間活力導入実施計画に基づき、旧桜川保育所から民間移管し、引き継いだ全ての園児を無事に小学校へ送り出すことができた。

【2】重点目標に対する成果

（1）子どもの日常生活を丁寧に見て情緒の安定を図り、基本的生活習慣を体得させる

0歳児、1歳児は、日々の生活の中で、子どもの行動や気持ちをじっくり観察し、子どもが気持ちを表現できるように、たくさん話しかけたり、共感を示したりすることにより安心できる環境を整えることで、健やかな発達を促すことができた。

（2）子どもの主体性・自主性を尊重し、のびのびと行動させる中で個々の成長・発達を支援する

日常の遊びや学びの場面で、子ども自身に問いかけることで選択肢を与え、自分の意思を表現する機会を作ってきた。また、スポーツ・フェスティバルや生活発表会では失敗を恐れずに挑戦できる雰囲気をつくることで、自信を持って行動できるようにすることを目指した。

（3）保護者と保育園が協力して子育ての協働を進める

保育時間も長くなり保護者の子育て支援には十分応えられた。また、写真を通して園での様子を配信することで、子どもたちの日常の細かい部分に至るまで見ていただくことができ、保育園活動に対する理解にもつながった。

（4）地域交流の場をつくり、親しみのある信頼される保育園を目指す

地域交流の一環として実施している「桜川保育園お楽しみ会」では、昨年度同様、近隣の地区長を招き、小学生の兄弟も自由に参加できるようにしたことで、会場はたくさんの来場者で賑わい、園を身近に感じてもらえることに繋がった。また、開園5年目を記念して模擬店を増やしたことで保護者同士が交流する時間が増えた。さらに、地域の祭りのお囃子披露もあり、子どもたちが日本の伝統文化を肌で楽しむことができ、たいへん好評であった。

高齢者施設等との交流では、同法人施設である「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者に対し、今年度も「敬老の日」に5歳児から健康長寿の願いを込めたビデオメッセージを送った。そのお礼として、年度末には、「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者の代表が来園し、同じく5歳児のために作った、おもちゃ、メッセージカードを卒園祝いのプレゼントとして手渡してもらうなど、有意義な交流が図れた。

（5）持続可能な社会を実現するために、SDGsの目標に向かったの保育園でできる取り組みを行っていく

園庭に野菜や花を育てるスペースを作り、子どもたちが植物の成長を学ぶ機会を提供したり、廃材を活用した遊びや工作をして捨てられるものを創造的に活用したりすることで資源の大切さを知る取り組みを続け、子どもたちが自然とSDGsの理念を身につけ、持続可能な社会を担う力を育んでいくことを継続して行った。その結果として【1】運営（運営方針に対する報告）にも記述した通り「いばらき保育の魅力コンテスト」の「子どもの成長部門」での入賞につながった。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 園児数 (単位：人)

月	ゆめ	はな	にじ	ほし	つき	そら	計
4月	9	18	18	20	19	20	104
5月	9	18	18	20	19	20	104
6月	9	18	18	20	19	20	104
7月	9	18	18	20	19	20	104
8月	9	18	18	20	19	20	104
9月	9	18	18	19	19	20	103
10月	9	18	18	19	19	20	103
11月	9	18	18	19	19	20	103
12月	9	18	18	19	19	20	103
1月	9	18	18	19	19	20	103
2月	10	18	18	19	19	20	104
3月	10	18	18	19	19	20	104

(2) 職員数 (単位：人)

月	常勤 保育士	非常勤 保育士	栄養士	看護師	管理員	調理師	調理 補助員	事務員	その他 常勤職員	その他 非常勤職員	計
4月	16	4	1	1	2	1	2	1	1	3	32
5月	16	4	1	1	2	1	2	1	1	3	32
6月	16	4	1	1	2	1	2	1	1	3	32
7月	16	4	1	1	2	1	2	1	1	3	32
8月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
9月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
10月	16	5	1	1	2	1	2	1	1	3	33
11月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
12月	16	6	1	1	2	1	2	1	1	3	34
1月	17	6	1	1	2	1	3	1	1	3	36
2月	16	6	1	1	2	1	3	1	1	3	35
3月	16	7	1	1	2	1	2	1	1	3	35

(3) 職員構成 (単位：人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R 6. 4	R 7. 3	R 6. 4	R 7. 3	R 6. 4	R 7. 3
施設長（園長）	0	0	1	1	0	0
主任保育士	1	1	0	0	0	0
副主任保育士	1	1	0	0	0	0
加配保育士	1	1	0	0	1	1
保育士（クラスリーダー）	7	7	0	0	0	0
保育士	5	5	2	2	2	5
保育補助員	0	0	0	0	2	2
英語講師	0	0	0	0	1	1
看護師	1	1	0	0	0	0
栄養士	1	1	0	0	0	0
調理師	1	1	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	2	2
管理員	1	1	0	0	1	1
事務員	0	0	0	0	1	1
計	19	19	3	3	10	13

(4) 延長保育 (単位：人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長 合計	1時間延長 合計
4月	14	0	10月	18	0	32	0
5月	20	0	11月	14	1	34	1
6月	29	4	12月	28	4	57	8
7月	28	0	1月	20	1	48	1
8月	23	0	2月	22	4	45	4
9月	32	3	3月	23	8	55	11
合 計						271	25

※合計については、延べ人数。

(5) 一時預かり保育（単位：人）

月	4時間以下	4時間以上	月	4時間以下	4時間以上	4時間以下 合計	4時間以上 合計
4月	1	59	10月	3	53	4	112
5月	1	46	11月	2	56	3	102
6月	1	45	12月	0	49	1	94
7月	0	43	1月	0	52	0	95
8月	0	35	2月	0	44	0	79
9月	0	42	3月	1	55	1	97
合 計						9	579

※合計については、延べ人数。

(6) 保育内容

当園の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」、「重点目標」に沿って、年間、月間、週間計画及びデイリープログラム（日課）を作成し、職員会議やクラス会議等において、その経過観察を行うとともに必要に応じて補正、調整をしながら、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実践した。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援

親切で穏やかな日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助することができた。また、毎月「園だより」や「給食だより」、「ほけんだより」を発行し、行事等の予定や活動の様子を伝えた。

(2) 保護者面談・保育参観

随時要望に応じて面談を実施する体制を整備し、子育ての悩みを共有、様々な提案をし、子育て支援ができるように取り組むことができた。

(3) 外部機関との連携

発達支援や育児不安などにより専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助することができた。また、小学校との連携では、年長児による学校訪問（土浦小学校）を実施し、1年生の授業見学及びゲームと一緒に楽しみながら交流を図ることができた。

(4) 地域支援活動

世代間交流事業や地域交流事業に取り組み、「桜川保育園お楽しみ会」開催時に、近隣の方々を招待するなど、地域全体でよりよい子育て環境を創るよう活動した。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和6年5月27日、11月11日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和6年5月16日、11月7日（年2回実施）

(3) 職員健康診断 令和7年3月26日（年1回実施）

(4) 職員インフルエンザ予防接種

令和6年11月11日（年1回実施）

(5) 調理員、調乳を行う保育士検便検査

令和6年4月15日、5月23日、6月17日、7月19日、8月16日、9月20日、10月15日、11月20日、12月16日、令和7年1月23日、2月13日、3月11日（年12回実施）

※令和6年10月から令和7年3月までは、ノロウイルス検査を6回 実施

(6) 感染症拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、溶連菌感染症、急性胃腸炎等の感染症拡大防止対策として、保育室やトイレの清掃、玩具や手すり、ドアノブなどの消毒の実施と職員及び園児による手洗い、手指消毒の励行

(7) 園児身体測定

令和6年4月24日、5月15日、6月12日、7月17日、8月7日、9月11日、10月10日、11月13日、12月12日、令和7年1月15日、2月12日、3月5日（年12回実施）

4. 防災安全

月	行 事 予 定
4 月	【避難訓練、不審者についての講話】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の合図を確認 ・避難訓練DVD視聴 ・消火訓練
5 月	【火災】「保育園調乳室からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・「お・か・し・も」=押さない、走らない、喋らない、戻らない、の確認 ・消火訓練
6 月	【火災、通報訓練】「給食室からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難 ・通報担当者が消防署に通報 ・消防署員指導の下、保育士、水消火器にて消火訓練実施
7 月	【水害】「梅雨の長雨による桜川の水位上昇により、警戒レベル3を想定」 ・保育士の指示で帰りの用意をしてホールに集合し、一斉メール配信、退園体制を確認 ・消火訓練
8 月	【地震】「保育中軽度の地震を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難 【不審者侵入】「放送が不可能な場合を想定」 ・合い言葉の確認とサスマタの使用の実演 ・消火訓練
9 月	【火災、通報訓練】「調理室からの出火を想定」 ・保育士の誘導により、送迎用駐車場へ避難し、避難後に煙体験 ・消火訓練
10 月	【地震】「保育中に中度の地震を想定」 ・保育士の指示で安全な場所、机の下や、保育室中央に避難 ・消火訓練
11 月	【地震】「土曜日の保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難 ・消火訓練
12 月	【火災】「乾燥時期に近隣住宅からの出火を想定」 ・通報担当者が消防署に通報 ・保育士の誘導により第1避難所から、第3避難所へ移動 ・消火訓練
1 月	【地震】「保育中に最大級の大地震発生を想定」 ・保育士の誘導で机の下などの安全な場所へ避難 ・合図で第1避難所へ移動後、第2避難場所へ移動 ・阪神淡路大震災の教訓の確認 ・消火訓練
2 月	【火災】「調理室から漏電による出火を想定」 ・保育士の誘導で、安全な場所に避難 ・コンセントにプラグがきちんと密着しているか確認 ・消火訓練
3 月	【地震】「保育中に大規模な地震発生を想定」 ・防災訓練「シェイクアウトつちうら」を実施 ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ移動し、放送を聞いて第1避難所に避難 ・東日本大震災での教訓の確認 ・消火器の場所再確認 ・消火訓練

※避難訓練（年12回）【通報訓練（年2回）と不審者対策（年1回）、消火訓練（年12回）を同時に実施】

5. 給食

給食とおやつは、栄養士の献立に沿って調理士の手作りメニューとし、離乳食は一人ひとりに合わせて進めている。本年度は、1月には全員が完了食になった。

- (1) 1歳児、2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつを提供
- (2) 3歳児～5歳児 昼食、午後おやつを提供
- (3) 延長保育児 補食の提供
- (4) アレルギー児 消化管アレルギー（卵）1名除去食を提供
- (5) 食育活動 栄養士が各クラスを巡回し、子どもたちと一緒に食事をする事で食事の様子を知り、食材の話や食べ方を指導

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	1日	進級式	・ホールにおいて実施
	4日	入園式	・ホールにおいて実施
5月	17日	保育参観（2歳児～5歳児）	・親子ふれ合い遊び・親子制作
	21日	遠足	・霞ヶ浦総合公園（4、5歳児） ・近隣散歩（0、1、2、3歳児）
6月	5日	食育教室	【4・5歳児行事】 ・食育体験学習（株式会社カスミ）
	22日	桜川保育園お楽しみ会	・輪投げ、魚釣り、くじ引き、ヨーヨーすくい、つかみどり ・かき氷、ポップコーン、焼きそば、10円パン、お囃子
7月	1日	プール開き	・お清め
	8日	七夕おくり	・七夕笹飾り
	14日	ピザ作り	【5歳児行事】 ・ピザ材料の買い出し、野菜の皮むき、生地からのピザ作り、窯焼き体験
8月		プール遊び	
10月	19日	スポーツ・フェスティバル 2024	・個人走、リレー、遊戯、玉入れ、親子競技
	29日	親子遠足	【5歳児行事】 ・アクアワールド大洗（親子で参加）
	31日	ハロウィン	・仮装パーティー
11月	7日	世界の友達と話そう	・国際理解教室
	21日	「勤労感謝の日」にちなんだ消防署訪問及び見学	【4、5歳児行事】 ・土浦消防署
	27日	お店屋さんごっこ	・体で感じる、匂い、音、手触りなどテーマにしたお店、アロマ、楽器作り、スライムなど
12月	20日	クリスマス会	・サンタクロースと交流
1月	10日	餅つき	・3、4、5歳児が餅をつき、5歳児がならせ餅を作る
	31日	節分豆撒き	・豆まき
2月	8日	生活発表会	・遊戯、劇、発表、歌、合奏、ピアノ力奏
3月	14日	お別れ会	・発表、プレゼント交換
	21日	卒園式	・卒園児と卒園児の保護者2名、4歳児が参加。式終了後に在園児が園庭にて花道を作り。卒園児を見送り

7. 年間会議

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	3	2	3	2	2	2	3	2	3	2	2	3	29
クラス会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食育会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
給食会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保護者会総会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
保護者会役員会	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
個人面談	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	7

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	開催日	受講者
乳児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
幼児教育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	4名
障害児保育	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
食育・アレルギー対応	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
保健衛生・安全対策	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	3名
保育者支援、子育て支援	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名
	11月 1日～ 1月31日 (eラーニング)	1名
マネジメント	8月 1日～10月31日 (eラーニング)	2名

(2) 保育技術専門研修

テーマ	開催日	受講者
生き生きと遊び豊かに育つ保育を目指して	4月20日	2名
保育が楽しくなる手あそび・歌あそび	6月14日	1名
「オープントイレ」で保育が変わる（オンライン）	6月18日	1名
障害のある幼児の理解と対応	7月 3日	1名
午睡中の突然死から子どもの命を守る（オンライン）	7月 4日	2名
非認知能力を育む保育者の言葉がけや環境づくり（オンライン）	7月 4日	1名
特別支援教育の視点から考える保幼小接続	7月12日	1名
子ども理解につながる脳と発達のメカニズムを知る（オンライン）	7月16日	1名
理学療法士の視点を保育に取り入れる（オンライン）	7月24日	1名
子どもの育ちと学びをつなぐ保幼小架け橋プログラミング	7月30日	1名
「リスクな遊び」の捉え方と取り組み（オンライン）	7月27日	1名
「こども会議」上映会	8月 2日	2名
幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて	8月 6日	1名
乳幼児期の心が健やかに育つ援助（オンライン）	8月14日	1名
重大事故への発展を防止するために（オンライン）	8月14日	1名
探索行動を支える環境作り（オンライン）	8月14日	1名
「丁寧に保育する」ってどういうこと？（オンライン）	8月15日	3名
女性でもできる不審者への対応実践（オンライン）	8月16日	4名
保育士キャリアアップ研修制度で新設された役職の役割（オンライン）	8月16日	1名
不適切な保育ってなに？（オンライン）	8月22日	1名
保育に活かす、子どもの権利（オンライン）	8月31日	1名
エピソードから学ぶ今の保育（オンライン）	9月28日	9名
多様な子どもの発達支援（オンライン）	10月 9日	3名
幼児理解を深めよう	11月 7日	1名
食を通して世界が広がる	11月 9日	1名
保養小接続 架け橋カリキュラム作成	11月12日	1名
子どもと一緒に創る遊び歌の面白さ	11月16日	2名
今日から明日へつながる保育	11月19日	1名
赤ちゃんの行動を科学で分析（オンライン）	12月21日	1名
一人ひとりの発達特性に応じた園内支援体制と環境づくり（オンライン）	1月 7日	1名
ハラスメントの理解と適切な指導方法（オンライン）	1月20日	1名
こども主体の保育環境の考え方とは（オンライン）	2月15日	2名
非認知能力を育む運動遊び（オンライン）	2月18日	2名
発達を促す楽しい運動遊び（オンライン）	3月 4日	1名
子ども家庭庁創設による保育業界の変革（オンライン）	3月10日	1名
怪我や病気の時の「こんな時どうする？」（オンライン）	3月22日	1名
虐待とは何か～保育者ができる専門ケア～（オンライン）	3月22日	1名
子どもの主体性を伸ばす言葉かけ（オンライン）	3月22日	1名
絵本から広がる遊びの世界（オンライン）	3月24日	1名
子どもの主体性を伸ばす言葉かけ（オンライン）	3月29日	1名

(3) 祥風会研修

テーマ	開催日	受講者
新入職員研修	4月19日	1名

(4) 内部研修

テーマ	開催日	受講者
保育現場で重要な接遇マナー	4月 1日	保育士全員
「交通KYT」を活用し、危険予知能力を高める 「世に中の大事なことしてたいてい面倒くさい」という言葉におもうこと	12月 2日	全職員
認知症サポーター養成講座	2月 8日	全職員
児童虐待防止研修会	2月 8日	全職員

(5) OJT (On The Job Training)

・ 随時開催